

エルサルバドル国
MEGATECラウニオン校
指導力向上プロジェクト
運営指導調査報告書

平成23年2月

独立行政法人国際協力機構
経済基盤開発部

基盤

JR

11-029

エルサルバドル国
MEGATECラウニオン校
指導力向上プロジェクト
運営指導調査報告書

平成23年2月

独立行政法人国際協力機構
経済基盤開発部

序 文

エルサルバドル国（以下「エ」国）は人口に比して国土が狭く資源にも乏しいために、産業人材育成、特にサービス産業における中堅・高等の職業技術者の人材育成が今後の発展の鍵となっています。特に、内戦の影響を強く受けた東部地域においては、社会・経済の開発が遅れており、我が国が円借款により支援しているラウニオン港は、東部地域における商業・観光産業発展の起爆剤として大きく期待されています。また、このラウニオン港の開港を踏まえ、港湾関連及び同港周辺地域の地域産業を担う地元の人材の育成が、東部地域の発展において急務となっています。

そのような状況の中で、「エ」国教育省は 2005 年 3 月に発表した長期政策「国家教育計画 2021」の中で、産業人材の育成及び競争力強化を打ち出しました。その具体的な施策として、高校から大学を含む技術教育を担う、地域の特性を活かした高等技術学校（我が国の高専、短大に相当）レベルの教育強化を目的とした「MEGATEC」プログラムを発表しました。

同プログラムの一環として、ラウニオン港及びその周辺地域の産業を担う地元人材の育成を目的とした MEGATEC ラウニオン校が、世界銀行及び我が国政府の支援により建設され、2006 年 2 月に第 1 期生の受け入れを開始しました。同校は、専門性を持つ教員を確保し授業を開始したものの、教員自身の指導能力が十分なものとはいえず、また、新しい学科である物流税関科、港湾運営管理科等は、教材・カリキュラムの整備が必要な状況であると共に教員の技術能力の向上が必要な状況にありました。

この状況を打開するために、2006 年 8 月、「エ」国政府より我が国政府に対して同校の指導力向上を目的とした技術協力プロジェクトの要請が提出され、2009 年 1 月から 2012 年 1 月までの 3 年間の協力期間で「MEGATEC ラウニオン校指導力向上プロジェクト」が実施されています。

2010 年 12 月で 1 年 11 ヶ月が経過し、プロジェクト期間の中間地点を経過したことから本プロジェクトの進捗状況、および最終年に向けた課題と対応策を検討することを目的に運営指導調査を行いました。

本報告書は、今回の調査結果を取りまとめたものです。

終わりに、調査にご協力とご支援を頂いた関係各位に対し、心より感謝申し上げますとともに、あわせて今後のご支援をお願いする次第です。

2011 年 2 月

独立行政法人国際協力機構
経済基盤開発部長 小西 淳文

目 次

序文
目次
写真
略語表

第1章 運営指導調査の概要.....	1
1-1 運営指導調査団派遣までの経緯.....	1
1-2 主要調査項目.....	1
1-3 調査団の構成.....	1
1-4 調査行程.....	2
1-5 主要面談者.....	2
第2章 調査結果.....	3
2-1 成果1の進捗状況.....	3
2-2 成果2の進捗状況.....	5
2-3 成果3の進捗状況.....	7
第3章 所感.....	8

付属資料

- 資料1. 実施協議調査 協議議事録
- 資料2. プロジェクトデザインマトリクス (PDM)
- 資料3. プランオブオペレーション (PO)
- 資料4. JCC 発表資料

写 真



MEGATEC ラウニオン校 全景



MEGATEC ラウニオン校中庭
(日本-エルサルバドル友好広場)



MEGATEC ラウニオン校 教室



コアグループへのヒアリング



JCC



JCC
(M/M 署名)

略 語 表

C/P	Counterpart	カウンターパート
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
PROTS	Progressive Training System for Instructor	指導技術訓練システム
M/M	Minutes of the Meetings	協議議事録
PDM	Project Design Matrix	プロジェクトデザインマトリクス
PO	Plan of Operation	活動計画表
R/D	Record of Discussion	討議議事録

第1章 運営指導調査の概要

1-1 運営指導調査団派遣までの経緯

2008年10月にR/Dが締結され、2009年1月より業務調整／人材ニーズ把握の専門家を派遣、同年3月よりチーフアドバイザー／訓練運営計画の専門家を派遣し、プロジェクトが開始された。

プロジェクト開始当初、プロジェクト対象範囲が広範に及ぶことから、活動対象を絞ることが出来ず、進捗が思わしくなかった。そのため、2009年8月に運営指導調査団を実施し、プロジェクトの活動範囲を絞り込むと共に、その方向性を明確にした。

その後も、健康の理由によるチーフアドバイザー／訓練運営計画の交代などもあり、プロジェクトの進捗は当初予定より遅れていた。しかしながら、日本人専門家の尽力、コンサルタントチーム（物流通関、港湾運営管理教員技術能力強化：2010年10年～）の派遣、また、CPの課題別研修への参加などの活動を踏まえ、ここに来てプロジェクトは成果を着実に上げつつある。

そのため、現状の進捗状況を確認すると共に、今後の着実且つ効果的なプロジェクト運営を行うため、PDM・POの修正等を協議することを目的として調査団を派遣する。

1-2 主要調査項目

- (1) プロジェクトの活動状況を確認する。
- (2) プロジェクト実施上の懸案事項を確認する。
- (3) CPからの要望及びその背景を確認する。
- (4) プロジェクトの今後の計画内容・工程を整理する。
- (5) (1)～(4)を踏まえPDM・POを修正し、M/Mとして取り纏め署名を行う。

1-3 調査団の構成

- | | | |
|---------|----------------------------|--------|
| 1) 団長総括 | : JICA エルサルバドル事務所 所長 | 那須 隆一 |
| 2) 協力企画 | : JICA 経済基盤開発部運輸交通・情報通信第三課 | 川辺 了一 |
| 3) 通訳 | : JICA メキシコ事務所手配 | 山脇 ふさ子 |

1-4 調査行程

調査は12月05日（日）～12月10日（月）（6日間）に実施した。詳細日程は以下に示す。

No	Date	Day	Schedule	Accommodation	
1	Dec	5	Sun	Arrival at SAL at 20:56 (CO828 from IAH)	San Salvador
2		6	Mon	AM: C/C JICA PM: Move to La Union	La Union
3		7	Tue	AM: Meeting with MEGATEC La Union PM: Site Survey	La Union
4		8	Wed	AM: Move to San Salvador PM: JCC at ITCA	San Salvador
5		9	Thu	AM: Report to JICA, EoJ PM: Document Arrangement	San Salvador
6		10	Fri	Leaving for IAH at 13:25 (CO827)	

1-5 主要面談者

(1) エルサルバドル側

1) Ministry of Education

Dra. Erlinda Hándal	科学技術教育担当 副大臣
Dr. Mauricio Rivera	高等技術教育ディレクター
Lic. Armando Ruíz	高等技術教育マネージャー
Lic. Graciela de Salgado	学校教育部 チーフ
Ing. Zulma Pérez	学校教育部 職員
Ing. Evelyn Rodríguez	学校教育部 職員

2) ITCA-FEPADE（高等技術教育機関）

Lic. Elsy Escolar	学長
Ing. Jorge Alfaro	開発計画部 チーフ

3) ラ・ユニオン校

Lic. Rafael Mejía	学校長
Lic. Mauricio Flores	情報システム学科 教員（成果1）
Lic. Danilo López	情報システム学科長（成果2）
Ing. Salvador Córdova	港湾運営管理学科長（成果3）
Lic. César Cordero	情報システム学科 教員
Carlos Sibrian	情報システム学部長
Enoc Rubio	調理観光学部長兼観光学科長
Mauricio Flores	情報システム学科教員
Israel Chavez	海洋科学学部長兼漁業学科長
Noemi Cedillos	学生課長

Herman Garcia	物流税関港湾学部長兼物流税関学科長
Salvador Cordova	港湾運営管理学科長
Marcia Garcia	物流税関学科教員
Marvin Caballero	港湾運営管理学科教員

(2) 日本側

中村 和人	在エルサルバドル大使館 参事官
近藤 信孝	JICA エルサルバドル事務所
津端 勝造	JICA 専門家（チーフアドバイザー／指導力向上計画）
荒木 珠代	JICA 専門家（業務調整／学生課機能向上）

第2章 調査結果

MEGATEC ラウニオン校において日本人専門家および各成果のコアグループメンバーと意見交換を行い、プロジェクトの進捗確認および今後の課題などについて協議を行った。結果は以下のとおり。

2-1 成果1の進捗状況

成果1：MEGATEC ラウニオン校の教員の指導能力が強化される。

（活動）

- 1.1 MEGATEC ラウニオン校における現在の指導法を分析する。
- 1.2 MEGATEC ラウニオン校にとって新しい指導法を紹介する。
- 1.3 MEGATEC ラウニオン校に適用可能な指導法を作成する。
- 1.4 確立した指導法の研修を行う。

(1) 進捗状況について

成果1については、コアグループが非常に積極的に活動をしていることが確認された。プロジェクト終了まで約1年を残す段階で、活動の1.1および1.2を終了し、現在、1.3「適用可能な指導法の作成」を実施している状況にある。詳細については以下に記す。

1) 1.1 MEGATEC ラウニオン校における現在の指導法を分析する

コアグループの教員を中心に、現在MEGATEC ラウニオン校の教員が有している主要な指導法(Bolton法)の利点弱点の洗い出しを実施した。また、教員の中には他の指導法に関する知識を有している者もあり、その教員が有している指導法についても、各教員とともに利点弱点の洗い出しを実施した。

2) 1.2 MEGATEC ラウニオン校にとって新しい指導法を紹介する

日本において開発された指導法 PROTS を中心に、幾つかの新しい指導法の紹介を行った。これらの指導法についても、その利点弱点について分析を行った。更に、本邦研修や第三国研修を実施し、コアグループの教員らが、PROTS のマスターコース、リーダーコースを修了し、来年度はアドミニストレーターコースを受講する予定でいる。この研修の参加は、教員らの知識の向上のみならず、他国の教育事情や指導法体系などを知る貴重な機会となり、大きな刺激となっている。

3) 1.3 MEGATEC ラウニオン校に適用可能な指導法を作成する。

コアグループでは、PROTS を中心とした指導法について分析を行った上で、MEGATEC ラウニオン校にとって必要な部分を取り入れる形で、同校に最適な指導法の作成を試みている。この指導法は、以下3つの項目からなっている。

1. 指導法の包括的体系の作成
2. この体系に基づいた指導法マニュアルの作成
3. 上記に基づいた人材育成の実施

指導法の体系は、生徒を主体性の伸ばす授業の実施方法、生徒および教員の評価方法(360°評価)、生徒への洞察・観察方法(チューターの配置)、e-learning への取り組みなど多岐に亘るが、一貫して生徒の主体性を伸ばす質の高い指導法を目指していることが伺えた。現在は、この指導法を各教員へ普及するためのマニュアル作りを実施している。

なお、特筆すべきは、コアグループらが、教育省や MEGATEC ラウニオン校の経営母体である ITCA-FEPAD (高等技術教育機関)においてプレゼンテーションを実施し、MEGATEC ラウニオン校の指導法として承認のみならず、この適用を ITCA-FEPAD の経営する他校へ広げることを提案している点である。ITCA-FEPAD は独自のカリキュラム委員会を組織していることから、今回提案した指導法をそのまま承認することは難しいと思われるが、この指導法の主旨を肯定的に受け止めており、今後一層の連携が必要になるとと思われる。

(2) プロジェクト実施上の懸案事項について

成果1は、コアグループが非常に主体的であり、また、日本人専門家からの指導や、適切な本邦・第三国研修への派遣がなされており、今後の実施するに当たり特段大きい懸念事項は見受けられない。引き続き、今のペースでプロジェクトを進めていくことが望まれる。

(3) CP からの要望について

コアグループは、今までのプロジェクトからの支援に非常に満足している。一方、以下2点について要望を受けた。

1) 教材作成支援の専門家派遣

成果1のコアグループでは、指導法マニュアルの作成を実施中である。この作成に当たり、視覚的にも分かりやすいマニュアルを作成するため、加えて、授業で使用する教材(模型や3D デジタル教材)の作成のために、教材作成支援の専門家派遣の要望を伝えられた。しかしながら、これらについて日本では教員がマニュアル本などを頼りに自助努力で作成していることが多く、この分野の専門家のリクルートは容易ではない。よって、本プロジェクトでもマニュアル本などを参考にすることで、コアグループが実施できるものと判断され、教材作成支援の専門家の派遣は行わない旨伝えた。

2) 指導法承認の支援

コアグループよりプロジェクトに対し、この指導法の他校適用を ITCA-FEPAD が承認するように支援して欲しいと要望を受けた。加えて、残りの1年ではこの承認は難しいと予想されることから、プロジェクト期間の延長についても要望を受けた。この指導法の他校への展開は、コアグループが主体的に発案した活動であり、この積極的な取り組み姿勢は高く評価すべきものと考えられる。しかしながら、成果1の本来の目的は MEGATEC ラウニオン校における適切な指導法を作成することであり、プロジェクト活動を超えた活動のために期間を延長することは不適切であると考えられる。よって、この承認については、

プロジェクトとしてはできる範囲で支援していくという姿勢をとることが望ましい。

(4) 今後のスケジュールについて

今後は以下の活動を実施する。

- ・指導法の教材を作成する
- ・研修計画を作成する
- ・試験的研修を実施する
- ・新指導法の評価をする

2-2 成果 2 の進捗状況

成果 2 : MEGATEC ラウニオン校の教員の指導能力が強化される。

(活動)

- 1.1 MEGATEC ラウニオン校における現在の指導法を分析する。
- 1.2 MEGATEC ラウニオン校にとって新しい指導法を紹介する。
- 1.3 MEGATEC ラウニオン校に適用可能な指導法を作成する。
- 1.4 確立した指導法の研修を行う。

(1) 進捗状況について

成果 1 については、コアグループが非常に積極的に活動をしていることが確認された。プロジェクト終了まで約 1 年を残す段階で、活動の 1.1 および 1.2 を終了し、現在、1.3 「適用可能な指導法の作成」を実施している状況にある。詳細については以下に記す。

1) 1.1 MEGATEC ラウニオン校における現在の指導法を分析する

コアグループの教員を中心に、現在 MEGATEC ラウニオン校の教員が有している主要な指導法 (Bolton 法) の利点弱点の洗い出しを実施した。また、教員の中には他の指導法に関する知識を有している者もあり、その教員が有している指導法についても、各教員とともに利点弱点の洗い出しを実施した。

2) 1.2 MEGATEC ラウニオン校にとって新しい指導法を紹介する

日本において開発された指導法 PROTS を中心に、幾つかの新しい指導法の紹介を行った。これらの指導法についても、その利点弱点について分析を行った。更に、本邦研修や第三国研修を実施し、コアグループの教員らが、PROTS のマスターコース、リーダーコースを修了し、来年度はアドミニストレーターコースを受講する予定である。この研修の参加は、教員らの知識の向上のみならず、他国の教育事情や指導法体系などを知る貴重な機会となり、大きな刺激となっている。

3) 1.3 MEGATEC ラウニオン校に適用可能な指導法を作成する。

コアグループでは、PROTS を中心とした指導法について分析を行った上で、MEGATEC ラウニオン校にとって必要な部分を取り入れる形で、同校に最適な指導法の作成を試みている。この指導法は、以下 3 つの項目からなっている。

1. 指導法の包括的体系の作成
2. この体系に基づいた指導法マニュアルの作成
3. 上記に基づいた人材育成の実施

指導法の体系は、生徒を主体性の伸ばす授業の実施方法、生徒および教員の評価方法（360° 評価）、生徒への洞察・観察方法（チューターの配置）、e-learning への取り組みなど多岐に亘るが、一貫して生徒の主体性を伸ばす質の高い指導法を目指していることが伺えた。現在は、この指導法を各教員へ普及するためのマニュアル作りを実施している。

なお、特筆すべきは、コアグループらが、教育省や MEGATEC ラウニオン校の経営母体である ITCA-FEPAD（高等技術教育機関）においてプレゼンテーションを実施し、MEGATEC ラウニオン校の指導法として承認のみならず、この適用を ITCA-FEPAD の経営する他校へ広げることを提案している点である。ITCA-FEPAD は独自のカリキュラム委員会を組織していることから、今回提案した指導法をそのまま承認することは難しいと思われるが、この指導法の主旨を肯定的に受け止めており、今後一層の連携が必要になるとと思われる。

(2) プロジェクト実施上の懸案事項について

成果 1 は、コアグループが非常に主体的であり、また、日本人専門家からの指導や、適切な本邦・第三国研修への派遣がなされており、今後の実施するに当たり特段大きい懸念事項は見受けられない。引き続き、今のペースでプロジェクトを進めていくことが望まれる。

(3) CP からの要望について

コアグループは、今までのプロジェクトからの支援に非常に満足している。一方、以下 2 点について要望を受けた。

1) 教材作成支援の専門家派遣

成果 1 のコアグループでは、指導法マニュアルの作成を実施中である。この作成に当たり、視覚的にも分かりやすいマニュアルを作成するため、加えて、授業で使用する教材（模型や 3D デジタル教材）の作成のために、教材作成支援の専門家派遣の要望を伝えられた。しかしながら、これらについて日本では教員がマニュアル本などを頼りに自助努力で作成していることが多く、この分野の専門家のリクルートは容易ではない。よって、本プロジェクトでもマニュアル本などを参考にすることで、コアグループが実施できるものと判断され、教材作成支援の専門家の派遣は行わない旨伝えた。

2) 指導法承認の支援

コアグループよりプロジェクトに対し、この指導法の他校適用を ITCA-FEPAD が承認するように支援して欲しいと要望を受けた。加えて、残りの 1 年ではこの承認は難しいと予想されることから、プロジェクト期間の延長についても要望を受けた。この指導法の他校への展開は、コアグループが主体的に発案した活動であり、この積極的な取り組み姿勢は高く評価すべきものとする。しかしながら、成果 1 の本来の目的は MEGATEC ラウニオン校における適切な指導法を作成することであり、プロジェクト活動を超えた活動のために期間を延長することは不適切であると考えられる。よって、この承認については、プロジェクトとしてはできる範囲で支援していくという姿勢をとることが望ましい。

(4) 今後のスケジュールについて

今後は以下の活動を実施する。

- ・指導法の教材を作成する

- ・研修計画を作成する
- ・試験的研修を実施する
- ・新指導法の評価をする

2-3 成果 3 の進捗状況

成果 3：MEGATEC ラウニオン校の物流税関科及び港湾運営管理科において、教員の技術能力が強化される。

(活動)

- 3.1 物流税関科/港湾運営管理科の教員に必要な(不足している)現在の技術能力を確認・検証する。
- 3.2 物流税関科/港湾運営管理科の教員に対する技術能力強化のための研修カリキュラムを作成する。
- 3.3 物流税関科/港湾運営管理科の教員研修を実施する。
- 3.4 物流税関科/港湾運営管理科の教員が研修内容に沿って授業用教材を改訂し、発表する。
- 3.5 物流税関科/港湾運営管理科の教員が行う発表を評価する。

(1) 進捗状況について

成果 3 については、2010 年 10 月によりやく日本人専門家チームの第 1 次派遣が実施され、3.1 現在の技術能力の確認・検証を行った。現在、この結果を基に、日本人専門家チームが 3.2 教員の研修カリキュラムを作成している状況にある。それを踏まえ、2011 年 6 月より約 1 ヶ月半の期間で、本邦において 3.3 の教員研修を実施する予定である。

(2) プロジェクト実施上の懸案事項について

成果 3 は、2010 年 10 月に日本人専門家の派遣が行われ、ようやく本格的に活動が開始された。残された活動期間は 1 年と短い、コアグループも非常に熱心であり、本邦で実施される研修を心待ちにしている。一方、日本人専門家チームも効率的な研修の実施のために準備を開始していることから、次の 1 年間は効果的な 1 年となるのが期待される。なお、2011 年 6 月の本邦研修までの約半年、具体的な活動が行われないため、JICA 側からコアグループへ、この期間のうち 1 ヶ月程度日本人専門家チームから 1 名を MEGATEC ラウニオン校に派遣し、授業内容立案の支援、教員への講義の実施（本邦研修の一部前倒し）などを行うことを提案した。コアグループも、この提案を歓迎しており、日本人専門家チームと相談の上、この派遣を実現したいと考えている。

(3) CP からの要望について

コアグループは、今までに実施された本邦研修参加（2 名）や、2010 年 10 月の日本人専門家チームの派遣などに満足しているものの、やはり本格的な研修の実施を心待ちにしている。また、「本邦研修では、研修後に実施するテキスト改定のための教材を入手したい」「研修は、受動的な講義のみならずケーススタディなどを用いた体験的なものとして欲しい」「本邦研修から帰国後は、MEGATEC ラウニオン校教員やラウニオン港従事者を対象にした研修を企画し本邦研修の経験を伝えたい」等の要

望が出るなど、積極的に学ぼうとする姿勢が随所に感じられた。

(4) 今後のスケジュールについて

今後は以下の活動を実施する。

- ・本邦研修の実施
- ・研修内容に沿って教員が指導教材を改定し発表する
- ・教員が行う発表を評価する

第3章 所感

(1) プロジェクトの進捗について

- ・プロジェクト開始当初は、プロジェクト活動を広範に設定したために活動内容を絞り込めず、また、健康を理由にしたチーフアドバイザーの変更などもあり、進捗が思わしくなかった。しかしながら、その後の日本人専門家の尽力、CPの積極的な取組み、効果的な本邦研修の実施等により、プロジェクトは着実に成果を上げつつある。

(2) 成果1について

- ・成果1については、コアグループの能力・意識が高く、着実に成果を上げている。現在のペースで活動を継続することができれば、確実な成果を挙げられると思料する。
- ・一方、当初 MEGATEC ラウニオン校における指導法の作成を想定していたが、コアグループはこの指導法を ITCA-FEPAD の他校へ展開することを希望している。これは当初の想定以上の成果であり、コアグループの意識の高さを表すものといえよう。JICA としても、このような意識の高い活動を支援することで、教員の能力を更に引き出すことが可能になると考える。しかしながら、ITCA-FEPAD は独自のカリキュラム委員会を有しており、プロジェクトで作成した指導法をそのまま承認することは難しいと思われる。コアグループはプロジェクトに対し、この承認に対する支援を要望しているが、プロジェクトの活動は、飽くまで MEGATEC ラウニオン校の指導法作成に軸足を置いたものであり、そこから派生した活動は、プロジェクトにとって付加的活動と認識した上で支援する必要があると思料する。
- ・コアグループからは、指導法の他校適用について ITCA-FEPAD から承認を得るために、プロジェクト期間の延長をして欲しいとの要望があった。しかしながら、付加的活動のためにプロジェクトを延長することは不適切であると判断する。

(3) 成果2について

- ・成果2については、日本人専門家の尽力もあり、プロジェクト期間1年を残す現段階において、目標としていた成果の大部分を達成している。このまま引き続き活動を実施することができれば、着実に成果を挙げられると思料する。

(4) 成果3について

- ・成果3については、2010年10月の日本人専門家チームの第1次派遣により、ようやく本格的な活動が開始された状況であり、進捗が遅れていることは否めない。しかしながら、成果3のコアグループも非常に主体的に取り組んでおり、日本人専門家チームが実施する今後の活動により、着実に成果を挙げるものと思料される。
- ・一方、この第1次派遣以降、2011年6月の本邦研修開始までの約半年間、具体的な活動が実施されない状況である。そのため、この期間中に、日本人専門家チームのうち1名を1ヶ月程度 MEGATEC ラウニオン校に派遣し、授業内容立案の支援、教員への講義の実施（本邦研修の一部前倒し）などを行うこと検討したい。

(5) 自立発展性の確保について

- ・プロジェクト終了後も各成果の自立発展性を担保できるよう、残りの1年間においてフォローアップ計画の立案を実施する必要があると思料する。

(6) プロジェクト延長の可能性について

- ・成果3の活動成果が現れるのは本邦研修終了後の2011年8月以降とプロジェクト終了が迫った時期となる。そのため、2011年夏に実施する終了時評価では、確実な成果達成を念頭に置き、プロジェクト期間の延長を検討する必要があると思料する。

(7) 専門家の交代について

- ・プロジェクト開始時より、牽引役として活動してきた荒木専門家（業務調整）が2011年1月に任期満了のため帰国する。新たに中沢専門家（業務調整）が赴任予定であるが、適切な引継ぎを実施し、滞りのないプロジェクトの実施が望まれる。

【付属資料】

資料 1. 実施協議調査 協議議事録

資料 2. プロジェクトデザインマトリクス (PDM)

資料 3. プランオブオペレーション(PO)

資料 4. JCC 発表資料

資料 1. 実施協議調査 協議議事録（英語版、西語版）

MINUTA DE REUNIONES
ENTRE
LA AGENCIA DE COOPERACIÓN INTERNACIONAL DEL JAPON (JICA)
MINISTERIO DE EDUCACIÓN DE EL SALVADOR,
Y
ESCUELA ESPECIALIZADA EN INGENIERÍA ITCA-FEPADE
PARA EL PROYECTO FORTALECIMIENTO DE LA CALIDAD ACADÉMICA
Y TÉCNICA DEL MEGATEC CON SEDE EN LA UNIÓN
(FOCATEC-La Unión)

San Salvador, 8 de diciembre de 2010



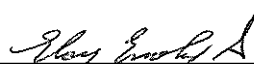
Lic. Ryuichi Nasu
Representante Residente
Oficina de JICA en El Salvador,
Agencia de Cooperación Internacional del Japón
JAPÓN



Dra. Erlinda Hándal Vega
Viceministra de Ciencia y Tecnología
Ministerio de Educación
REPÚBLICA DE EL SALVADOR



Ing. Katsuzo Tsubata
Primer Asesor / Experto
FOCATEC-La Unión,
Agencia de Cooperación Internacional del Japón
JAPÓN



Lic. Elsy Escolar Santo Domingo
Rectora
Escuela Especializada en Ingeniería
ITCA-FEPADE
REPÚBLICA DE EL SALVADOR

Basado en el Registro de Discusión (de aquí en adelante denominado como "R/D") para el Proyecto de Fortalecimiento de la Calidad Académica y Técnica del MEGATEC con Sede en La Unión (de aquí en adelante denominado como "el Proyecto") firmado el 17 de octubre de 2008, entre el Gobierno de la República de El Salvador (de aquí en adelante denominado como "la Parte Salvadoreña") y la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (de aquí en adelante denominada como "JICA"), JICA envió los Expertos japoneses de largo plazo al Centro Regional de La Unión de la Escuela Especializada en Ingeniería ITCA-FEPADE (de aquí en adelante denominado como "ITCA-MEGATEC La Unión") desde el 12 de enero de 2009, que es considerado como la inauguración oficial del Proyecto. El Equipo del Proyecto, con los Contrapartes en el ITCA-MEGATEC La Unión, dirigido por los Expertos japoneses, realizó la primera reunión del Comité de Coordinación Conjunto (de aquí en adelante denominado como "CCC") el 8 de octubre de 2009, después de la primera Misión de consulta desde JICA Sede Central Tokio, del 17 al 21 de agosto de 2009. Después del primer CCC, hace más de un año el Proyecto no podía realizar el siguiente CCC por la tardanza del envío de los Expertos japoneses, tal como el Primer Asesor del Proyecto y los Expertos del área de Portuaria, y Logística y Aduanas. Sin embargo, el Ing. Katsuzo TSUBATA, Experto y Primer Asesor, se puso en función desde el 19 de mayo de 2010, además se realizó el envío del Equipo de los Expertos japoneses del área de Portuaria, y Logística y Aduana en octubre de 2010. En base a los resultados, JICA Sede Central Tokio envió la segunda Misión de consulta del 6 al 9 de diciembre de 2010, y el Equipo del Proyecto llevó a cabo el segundo CCC junto con la segunda Misión.

La segunda reunión del CCC fue sostenida el 8 de diciembre de 2010, en la sala Conacore del Ministerio de Educación (de aquí en adelante denominado como "MINED"). La Parte Salvadoreña estuvo representada por la Viceministra de Ciencia y Tecnología, junto con el personal de contraparte del MINED, y la Rectora y las autoridades de la Sede de la Escuela Especializada en Ingeniería ITCA-FEPADE (de aquí en adelante denominada como "ITCA-FEPADE") junto con el personal de contraparte del ITCA-MEGATEC La Unión. Además, los representantes del Ministerio de Trabajo y Previsión Social participaron como observadores. De la Parte Japonesa, el Representante Residente y los funcionarios de la Oficina de JICA El Salvador y Sede Central Tokio, asistieron a la reunión con los Expertos japoneses del Proyecto. Así como también, el consejero de la Embajada del Japón y la Experta japonesa del Sistema de la Integración Centroamericana participaron como observadores.

Los objetivos de este CCC eran aprobar los cambios de la Matriz de Diseño del Proyecto (de aquí en adelante denominada como "PDM") y el Plan de Operación del Proyecto (de aquí en adelante denominado como "PO") que han sido modificados por la segunda Misión, además revisar el progreso

general del Proyecto en base a los avances de las actividades de cada Grupo Núcleo de los Resultados. Como conclusión de las discusiones, y con un compromiso compartido para asegurar que el Proyecto se lleva a cabo lo más eficazmente posible, la Parte Salvadoreña y JICA tomaron acuerdos sobre los puntos referidos en los documentos adjuntos.

Se elaboraron duplicados en los idiomas inglés y español respectivamente, siendo cada documento igualmente auténtico. En el caso de algunas divergencias de interpretación prevalecerá el texto en inglés.



DOCUMENTO ADJUNTO

I. DIRECCIÓN DEL PROYECTO

El Proyecto presentó la PDM y el PO modificados como el plan futuro operacional del Proyecto.

Ambas Partes Salvadoreñas y JICA convinieron en la PDM como se muestra en el ANEXO I y el PO como se muestra en el ANEXO II con el entendimiento siguiente:

1) PDM y PO

La PDM y el PO modificados en base a los progresos de las actividades y los resultados de la segunda Misión en diciembre de 2010, son considerados como las versiones oficiales, y se llevarán a cabo a partir de la fecha del CCC como se acordó.

2) Organigrama de los Contrapartes del Proyecto

Habían cambios de algunos integrantes del Equipo del Proyecto, como miembros de los Grupos Núcleos de los Resultados, por la razón de adecuación de la capacidad y puestos de los Contrapartes, y también movimiento del personal del MINED, como se muestra en el ANEXO III.

3) Insumos del Proyecto

El Proyecto informó los planes de envío de los Expertos japoneses y también las capacitaciones en Japón y el tercero país en donde los Contrapartes del Proyecto serán los participantes.

II. PROGRESO GENERAL DEL PROYECTO

Los representantes de los Grupos Núcleos de los Resultados presentaron en la reunión los avances de las actividades de cada Resultado, que se realizaron durante catorce (14) meses, después del último CCC de octubre 2009 hasta diciembre de 2010, así mismo informaron los Planes Futuros del año restante (2011). Los progresos de las actividades y el Plan Futuro se reflejan en el PO, como se muestra en el ANEXO II.



III. OTROS

1) Próxima reunión del CCC

La tercera reunión del CCC se llevará a cabo entre junio y agosto del 2011, junto con la Misión de Evaluación Final del Proyecto.

ANEXO I: Matriz de Diseño del Proyecto (PDM) versión 3.0

ANEXO II: Plan de Operación (PO) versión 3.0

ANEXO III: Organigrama del Proyecto con los Grupos Núcleos versión 2.0



MATRIZ DE DISEÑO DEL PROYECTO (PDM) (Versión 3.0)

Título del Proyecto: Fortalecimiento de la Calidad Académica y Técnica del MEGATEC con Sede en La Unión

Fecha de elaboración: 8 de diciembre de 2010

Fecha de modificación: 8 de diciembre de 2010

Área: Educación Técnica y Tecnológica

Preparada por: El Ministerio de Educación de El Salvador (MINED) a través de la Gerencia de Educación Técnica y Tecnológica (GETT), La Escuela Especializada en Ingeniería ITCA-FEPADE (ITCA-FEPADE) y la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (JICA)

Sitio Geográfico de Ejecución Directa del Proyecto: Departamento de La Unión en la Región Oriental de El Salvador

Período: 3 Años (12 de enero de 2009 – 11 de enero de 2012)

Grupo de Beneficiarios: Directos: MEGATEC con Sede en La Unión, administrado por la regional de ITCA-FEPADE
Indirectos: Red MEGATEC, sectores productivos de la Región Oriental, estudiantes futuros y actuales del MEGATEC con Sede en La Unión. (Aproximadamente más de 2,500 beneficiarios por año)

Resumen Narrativo	Indicadores Objetivamente Verificables	Medios de Verificación	Supuestos Importantes
<p>Objetivo Superior: Los recursos humanos a nivel técnico o más alto se forman para el desarrollo de la zona oriental.</p>	<p>1. Se aumenta el porcentaje del recurso humano a nivel técnico o más alto en la zona oriental.</p>		<p>- El Puerto de La Unión está en funcionamiento y mantiene el número de barcos constantemente.</p>
<p>Objetivo del Proyecto: Se ha mejorado la educación académica y técnica impartida en el MEGATEC con Sede en La Unión para responder al desarrollo de la zona oriental.</p>	<p>1. Entre los graduados del MEGATEC con Sede en La Unión que están laborando, se colocan en la zona oriental al menos el 80 %.</p> <p>2. Se marca más que un 80% de satisfacción de las empresas en la zona oriental que emplean los graduados del MEGATEC con Sede en La Unión.</p>	<p>1. Informe del avance de colocación de ITCA-FEPADE (Encuesta a los graduados del MEGATEC con Sede en La Unión)</p> <p>2. Informe del avance de colocación de ITCA-FEPADE (Encuesta a las empresas)</p>	<p>- El dinamismo de las necesidades de los recursos humanos a nivel técnico no se cambia drásticamente.</p>
<p>Resultados:</p> <p>1. Las competencias didácticas de los docentes del MEGATEC con Sede en La Unión han sido fortalecidas para el desempeño en todas las carreras técnicas.</p> <p>2. La función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con Sede en La Unión ha sido mejorada para facilitar la promoción y colocación eficientemente.</p>	<p>1.1 Se elabora el manual de la nueva metodología didáctica.</p> <p>1.2 Se realiza la capacitación relacionada a la nueva metodología didáctica por los contrapartes, por lo menos dos (2) veces.</p> <p>1.3 Al menos el 80% de los docentes permanentes del MEGATEC con Sede en La Unión han sido capacitados en la nueva metodología didáctica.</p> <p>2.1 Se elabora un Folleto Promocional adaptado a la situación del MEGATEC con Sede en La Unión.</p> <p>2.2 Se mantiene el número de aspirantes al menos un 50% de la capacidad máxima (1,000) del MEGATEC con Sede en La Unión.</p> <p>2.3 Se realizan al menos 4 eventos para mejorar el programa de colocación en el MEGATEC con Sede en La Unión.</p>	<p>1.1 Manual de la nueva metodología didáctica</p> <p>1.2 Informe del avance del Proyecto</p> <p>1.3 Informe del avance del Proyecto</p> <p>2.1 Folleto Promocional</p> <p>2.2 Informe del avance de promoción de ITCA-FEPADE (Estadística de Aspirantes)</p> <p>2.3 Informe del avance del Proyecto</p>	<p>- Los docentes capacitados siguen trabajando en el MEGATEC con Sede en La Unión.</p> <p>- Hay necesidad del recurso humano respondiendo al aumento del número de los graduados.</p>
<p>3. Las competencias técnicas de los docentes del MEGATEC con Sede en La Unión han sido fortalecidas para el desempeño en las carreras técnicas de Logística y Aduanas (LYA), y Administración y Operación Portuaria (AOP).</p>	<p>3.1 Se elabora un plan de la capacitación para el fortalecimiento de sus competencias técnicas de los docentes de las carreras de LYA y AOP.</p> <p>3.2 Se revisan los materiales didácticos de las carreras de LYA y AOP, por lo menos dos (2) veces.</p>	<p>3.1 Plan de la capacitación de las competencias técnicas de los docentes</p> <p>3.2 Informe de la modificación de los materiales didácticos</p>	




 553

PLAN DE OPERACIÓN [Versión 3.0]

Título del Proyecto: Fortalecimiento de la Calidad Académica y Técnica del MEGATEC con Sede en La Unión
 Área: Educación Técnica y Tecnológica
 Período: 3 Años (12 de enero de 2009 – 11 de enero de 2012)

Fecha de elaboración: 8 de diciembre de 2010
 Fecha de modificación: 8 de diciembre de 2010

Resultados Esperados / Actividades a Realizar	Cronograma de Trabajo			Responsable
	1er Año	2do Año	3er Año	
1. Las competencias didácticas de los docentes del MEGATEC con Sede en La Unión han sido fortalecidas para el desempeño en todas las carreras técnicas.				
1.1 Analizar la metodología didáctica utilizada en el MEGATEC con Sede en La Unión.				
1-1-1 Obtener los datos sobre los niveles de la metodología didáctica utilizada de los docentes				
1-1-2 Elaborar los instrumentos de recolección de información y dinámicas para la obtención de los mismos				
1-1-3 Determinar el grado de aplicación de la metodología didáctica utilizada en el desempeño del docente				
1-1-4 Identificar las fortalezas y debilidades de la metodología didáctica utilizada				
1-1-5 Identificar los puntos de mejora de la metodología didáctica utilizada				
1-1-6 Determinar contenidos y tiempos en que debe ser actualizado y desarrollado				
1.2 Proponer otra(s) metodología(s) didáctica(s) para el MEGATEC con Sede La Unión.				
1-2-1 Identificar las necesidades de formación didáctica de los docentes				
1-2-2 Determinar las metodologías adicionales en que los docentes han sido formado				
1-2-3 Identificar otras metodologías didácticas (teóricas, prácticas)				
1-2-4 Evaluar el contenido de otras metodologías				
1-2-5 Seleccionar contenido(s) de otra(s) metodología(s) que se podría(n) aplicar				
1-2-6 Desarrollar capacitación de otra(s) metodologías por parte del experto(s)				
1.3 Formular una metodología didáctica adecuada para el MEGATEC con Sede en La Unión.				
1-3-1 Determinar contenido de nueva metodología, integrando la metodología didáctica utilizada y otra(s) metodología(s)				
1-3-2 Revisar la estructura y contenido por parte de ITCA sede central				
1-3-3 Elaborar el material didáctico del curso				
1-3-4 Definir dinámica de enseñanza de la nueva metodología				
1-3-5 Establecer el sistema de evaluación del curso				
1-3-6 Seleccionar los formadores para el curso				
1-3-7 Capacitar a los formadores de la nueva metodología				
1.4 Implementar la capacitación de la metodología didáctica formulada en la actividad 1.3.				
1-4-1 Elaborar el programa de la capacitación				
1-4-2 Elaborar el presupuesto para impartir la capacitación				
1-4-3 Definir el facilitador y el equipo de apoyo				
1-4-4 Realizar la capacitación piloto				
1-4-5 Evaluar el desarrollo de la nueva metodología				
1-4-6 Realizar la capacitación				

Experto PA
 Experto CD
 CP-ITCA

(Handwritten signatures and initials)

Resultados Esperados / Actividades a Realizar	Cronograma de Trabajo			Responsable
	1er Año	2do Año	3er Año	
2. La función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con Sede en La Unión ha sido mejorada para facilitar la promoción y colocación eficientemente.				
2.1 Revisar la función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con Sede en La Unión.				
2-1-1 Obtener lista de funciones				
2-1-2 Identificar las funciones que conllevan a las actividades				
2-1-3 Priorizar las funciones				
2.2 Identificar puntos de mejora en la función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con Sede en La Unión.				
2-2-1 Identificar las fortalezas y debilidades de las funciones				
2-2-2 Planificar la investigación de promoción y colocación				
2-2-3 Ejecutar el plan de la investigación				
2-2-4 Identificar y aprobar los puntos de mejora				
2-2-5 Priorizar los puntos de mejora				
2.3 Elaborar el plan para mejorar la función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con Sede en La Unión.				
2-3-1 Listar acciones encaminadas a los puntos de mejora				
2-3-2 Recolectar la información				
2-3-3 Priorizar las actividades				
2-3-4 Elaborar cronograma de actividades de promoción y colocación				
2-3-5 Elaborar los planes de acción				
2.4 Ejecutar el plan elaborado en la actividad 2.3 para mejorar la función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con sede en La Unión.				
2-4-1 Programar la agenda de las actividades				
2-4-2 Coordinar y desarrollar las actividades				
2-4-2-1 Elaborar un folleto del MEGATEC con Sede en La Unión				
2.5 Verificar los resultados de la ejecución en la actividad 2.4.				
2-5-1 Recolectar la información de los resultados				
2-5-2 Identificar los factores que influyen en la realización de actividades				
2-5-3 Analizar los resultados (comparación de datos estadísticos)				
2-5-4 Presentar los resultados y preparar el informe final				
2-5-5 Continuar seguimiento de programación de actividades				

Experto PA/
Experto AE
CP-ITCA

(Handwritten signatures and initials)

Resultados Esperados / Actividades a Realizar	Cronograma de Trabajo			Responsable
	1er Año	2do Año	3er Año	
3. Las competencias técnicas de los docentes del MEGATEC con Sede en La Unión han sido fortalecidas para el desempeño en las carreras técnicas de Logística y Aduanas (Lya), y Administración y Operación Portuaria (AOP).				Experto PA Experto Lya/ Experto AOP CP-ITCA
3.1 Identificar las competencias técnicas necesarias (faltas) de los docentes de cada carrera.				
3-1-1 Identificar necesidades de capacitación por parte de los docentes				
3-1-2 Priorizar las necesidades de capacitación para fortalecer competencias técnicas				
3.2 Elaborar un plan de la capacitación en base al perfil definido en la actividad 3.1 para el fortalecimiento de sus competencias técnicas.				
3-2-1 Revisar necesidades de capacitación por parte de CEPA, Puerto La Unión				
3-2-2 Revisar necesidades de capacitación por parte de expertos japoneses				
3-2-3 Elaborar listado de cursos de capacitación				
3-2-4 Elaborar programa de capacitación				
3-2-5 Presentar propuesta de programa de capacitación a la planta docente del MEGATEC con Sede en La Unión				
3.3 Implementar la capacitación a los docentes según el plan elaborado en la actividad 3.2.				
3-3-1 Preparar condiciones para la capacitación en el exterior				
3-3-2 Ejecutar la capacitación en el exterior				
3-3-3 Preparar condiciones para la capacitación en el MEGATEC con Sede en La Unión				
3-3-4 Ejecutar capacitación por parte de los expertos japoneses				
3-3-5 Capacitar los docentes de institutos articulados en Lya				
3.4 Modificar los materiales didácticos respondiendo a los nuevos conocimientos adquiridos en la capacitación de la actividad 3.3, y realizar una presentación con los materiales didácticos modificados (por los docentes).				
3-4-1 Entregar material didáctico por parte de expertos japoneses para docentes				
3-4-2 Revisar materiales didácticos considerando nuevos conocimientos de los docentes y descriptores de módulos				
3-4-3 Incluir mejoras en materiales didácticos considerando nuevos conocimientos y los descriptores de módulos				
3.5 Evaluar las presentaciones de la actividad 3.4.				
3-5-1 Presentar y evaluar nuevos materiales didácticos por parte del Grupo Núcleo				
3-5-2 Poner a disposición de los alumnos los nuevos materiales didácticos				

Abreviaciones:

GETT Gerencia de Educación Técnica y Tecnológica del Ministerio de Educación

ITCA Escuela Especializada en Ingeniería ITCA-FEPADE

CP-ITCA Contrapartes de la Regional de ITCA La Unión

Experto PA Primer Asesor / Planificación del mejoramiento de las competencias didácticas de los docentes

Experto AE Coordinador Administrativo y Financiero / Apoyo al mejoramiento de la función de Asistencia Estudiantil

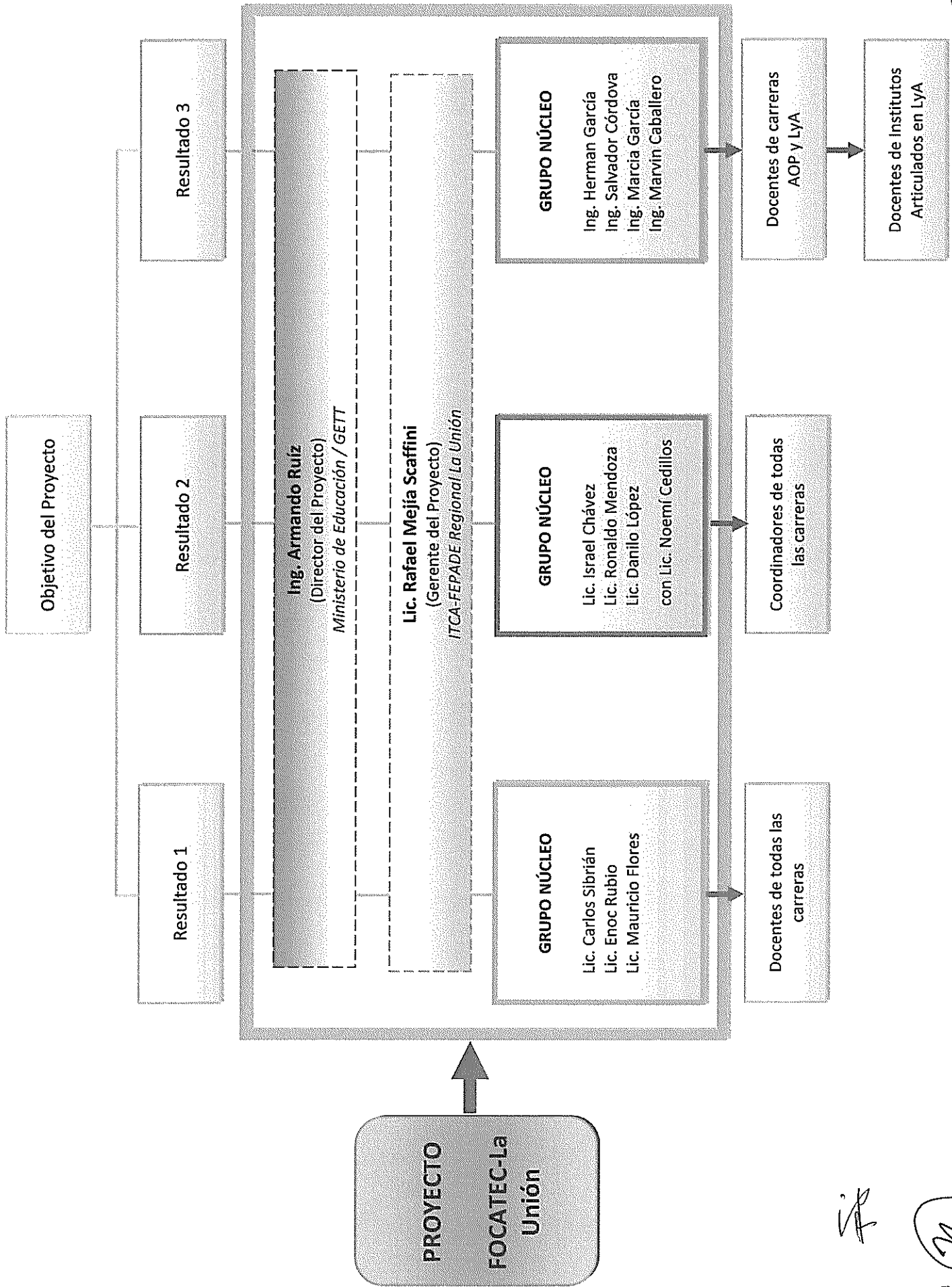
Experto CD Experto de las competencias didácticas

Experto Lya Experto técnico de la carrera de Logística y Aduanas

Experto AOP Experto técnico de la carrera de Administración y Operación Portuaria

133

ORGANIGRAMA DE CONTRAPARTES DE CADA RESULTADO (versión 2.0)



Handwritten initials and signatures at the bottom right of the page.

**MINUTES OF THE MEETING
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA),
MINISTRY OF EDUCATION OF THE REPUBLIC OF EL SALVADOR,
AND
SPECIALIZED ENGINEERING SCHOOL ITCA-FEPADE
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE PROJECT
THE STRENGTHENING OF TEACHING QUALITY OF MEGATEC LA UNION
(FOCATEC-La Union)**

San Salvador, December 8th, 2010



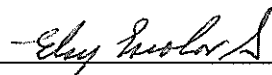
Mr. Ryuichi Nasu
Resident Representative
JICA El Salvador Office,
Japan International Cooperation Agency
JAPAN



Ms. Erlinda Handal Vega
Vice Minister of Science and Technology
Ministry of Education
REPUBLIC OF EL SALVADOR



Mr. Katsuzo Tsubata
Chief Advisor / Expert
FOCATEC-La Union,
Japan International Cooperation Agency
JAPAN



Ms. Elsy Escolar Santo Domingo
Rector
Specialized Engineering School
ITCA-FEPADE
REPUBLIC OF EL SALVADOR

Based on the Record of Discussion (hereinafter referred to as “R/D”) for the Project for the Strengthening of Teaching Quality of MEGATEC La Union (hereinafter referred to as “the Project”) agreed upon on October 17, 2008, between the Government of the Republic of El Salvador (hereinafter referred to as “the Salvadoran Side”) and the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”), JICA dispatched long term Japanese Experts to La Union Region Center of the Specialized Engineering School ITCA-FEPADE (hereinafter referred to as “ITCA-MEGATEC La Union”) from January 12, 2009, which is regarded as the official inauguration of the Project. The Project Team, with their Counterparts at ITCA-MEGATEC La Union, led by Japanese Experts, held the first Joint Coordination Committee (hereinafter referred to as “JCC”) meeting on October 8, 2009, after the first consultation Mission from JICA Tokyo Headquarters, from August 17 to 21, 2009. After the first JCC, the Project had not been able to hold the following JCC for more than one year due to the delay in the dispatch of Japanese Experts, such as the Chief Advisor of the Project and the Experts in the area of Port, and Logistics and Customs. However, Mr. Katsuzo TSUBATA, the Expert and the Chief Advisor, took his post from May 19 of 2010, and the dispatch of the Team of the Japanese Experts in the area of Port, as well as Logistics and Customs took place on October, 2010. According to the results, JICA Tokyo Headquarters dispatched the second consultation Mission from December 6 to 9, 2010, and the Project Team carried out the second JCC together with the second Mission.

The second JCC meeting was held on December 8, 2010, at the conference room “Conacore” of the Ministry of Education (hereinafter referred to as “MINED”). The Salvadoran Side was represented by the Vice Minister of Science and Technology, along with the counterpart personnel of MINED, and the Rector and the authorities of the Specialized Engineering School ITCA-FEPADE Headquarters (hereinafter referred to as “ITCA-FEPADE”) together with counterpart personnel of the ITCA-MEGATEC La Union. In addition, representatives from the Ministry of Labor and Social Prevision participated as observers. From the Japanese Side, the Resident Representative and the officials of JICA El Salvador Office and Tokyo Headquarters attended the meeting with Japanese Experts of the Project. At the same time, the counselor of the Embassy of Japan and the Japanese Expert of the Central American Integration System participated as observers.

The objectives of this JCC were to approve the changes of the Project Design Matrix (hereinafter referred to as “PDM”) and the Plan of Operation of the Project (hereinafter referred to as “PO”) which have been modified by the second Mission, besides reviewing the overall progress of the Project according to the advances made in the activities of each Core Group for the expected Outputs. As a

result of the discussions, and with a shared commitment to ensuring that the Project is implemented as effectively as possible, the Salvadoran Side and JICA agreed upon the matters referred to in the document attached hereto.

These texts were done in both English and Spanish, each text being equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall be given priority.

(76)

06 if 221

ATTACHED DOCUMENT

I. DIRECTION OF THE PROJECT

The Project presented the modified version of the PDM and the PO as the future operational plan of the Project.

Both the Salvadoran Side and JICA agreed upon the PDM, shown in ANNEX I, and the PO, as shown in ANNEX II, with the following understanding:

1) PDM and PO

The PDM and the PO, modified based on the progress of the activities and the results of the second Mission in December 2010, are regarded as the official versions, and will be carried out from the date of the JCC as agreed.

2) Organization Chart of the Counterparts of the Project

Some members of the Project Team have been changed, such as the members of the Core Groups of expected Outputs in view of adequateness of the capacity and position of the Counterparts, and also because of the personnel change of MINED, as shown in ANNEX III.

3) Inputs of the Project

The Project informed the plans for the dispatch of the Japanese Experts and trainings in Japan and the third country as well, in which the Counterparts of the Project will be the participants.

II. OVERALL PROGRESS OF THE PROJECT

The representatives of the Core Groups of expected Outputs presented the advances of the activities of each Output, which were implemented during the period of fourteen (14) months, after the last JCC of October of 2009 until December of 2010. At the same time, they informed the Future Plans for the rest of year (2011). The progress of the activities and the Future Plan are reflected in the PO, as shown ANNEX II.

III. OTHERS

1) Next JCC meeting

The third JCC meeting will be held between June and August of 2011, together with the Mission of the Final Evaluation of the Project.

ANNEX I: Project Design Matrix (PDM) version 3.0

ANNEX II: Plan of Operation (PO) version 3.0

ANNEX III: Organization Chart of the Project with Core Groups version 2.0

2

ESB
ESB
ESB

PROJECT DESIGN MATRIX (PDM) [Version 3.0]

Project Title: The Project for the Strengthening of Teaching Quality in MEGATEC La Union
Area: Technical and technological Education
Geographical Site of Project Execution: Department of La Union in the Eastern Region of El Salvador
Period: 3 Years (January 12, 2009 – January 11, 2012)
Target Beneficiaries: Direct: MEGATEC La Union, managed by the branch office of ITCA-FEPADE
 Indirect: MEGATEC network, productive sectors of the Eastern Region, future and current students of the MEGATEC La Union (Estimated of 2,500 beneficiaries per year)

Date of Elaboration: December 8, 2010
Date of Modification: December 8, 2010
Prepared by: The Ministry of Education of El Salvador (MINED) through the Management of Technical and Technological Education (GETT), The Specialized Engineering School ITCA-FEPADE (ITCA-FEPADE) and the Japan International Cooperation Agency (JICA)

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of verification	Important Assumptions
<p>Overall Goal: Human resources at the technical or higher level are produced for development in the eastern region.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - Percentage of human resources at the technical or higher level increases in the eastern region. 		<ul style="list-style-type: none"> - The Port of La Union is in operation and keeps a constant number of container vessels.
<p>Project Purpose: Academic and technical education imparted at MEGATEC La Union has been improved in order to respond to development in the eastern region.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - Among graduates, of the MEGATEC La Union, who are employed, at least 80% of them are placed in the eastern region. - The satisfaction level of the companies in the eastern region that employ graduates of the MEGATEC La Union marks more than 80%. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Progress report of placement of ITCA-FEPADE (Questionnaire survey of the graduates of the MEGATEC La Union) 2. Progress report of placement of ITCA-FEPADE (Questionnaire survey of the companies) 	<ul style="list-style-type: none"> - The dynamics of the needs of human resources at the technical level do not change drastically.
<p>Outputs:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Didactical competences of the teachers in MEGATEC La Union have been strengthened for performance in all technical careers. 	<ol style="list-style-type: none"> 1.1 A Manual of the new didactical methodology is elaborated. 1.2 Trainings related to the new didactical methodology are given by the counterparts at least two (2) times. 1.3 At least 80% of full-time employed teachers of the MEGATEC La Union have been trained in the new didactical methodology. 	<ol style="list-style-type: none"> 1.1 Manual of the new didactical methodology 1.2 Progress report of the Project 1.3 Progress report of the Project 	<ul style="list-style-type: none"> - The trained teachers continue working at MEGATEC La Union. - There is a need for human resources as the number of graduates grows.
<ol style="list-style-type: none"> 2. Functions of Assistance for Students of MEGATEC La Union have been improved to facilitate the promotion and placement efficiently. 	<ol style="list-style-type: none"> 2.1 A Promotional Pamphlet, which is adapted to the situation of MEGATEC La Union, is elaborated. 2.2 The number of applicants is maintained at least 50% of the maximum capacity (1,000) of MEGATEC La Union. 2.3 Events for improvement of the placement program of MEGATEC La Union are held at least four (4) times. 	<ol style="list-style-type: none"> 2.1 Promotional Pamphlet 2.2 Progress report on the promotion of ITCA-FEPADE (Statistic of applicants) 2.3 Progress report of the Project 	
<ol style="list-style-type: none"> 3. Technical competences of the teachers at MEGATEC La Union have been strengthened for performance in technical careers of Logistics and Customs (LyA), and Port Administration and Operation (AOP). 	<ol style="list-style-type: none"> 3.1 A plan of training for the strengthening of technical competences of the teachers in the careers of LyA & AOP is elaborated. 3.2 Didactical materials of the careers of LyA and AOP are reviewed at least two (2) times. 	<ol style="list-style-type: none"> 3.1 Plan of training for technical competences of the teachers 3.2 Modification report of the didactical materials 	

(Handwritten signatures and initials)

<p>Activities:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.1 To analyze the didactical methodology used in MEGATEC La Union. 1.2 To propose other didactical methodology(ies) for MEGATEC La Union. 1.3 To form an adequate didactical methodology for MEGATEC La Union. 1.4 To implement the training of the didactical methodology formed in activity 1.3. 2.1 To review the functions of Assistance for Students of MEGATEC La Union. 2.2 To identify improvement points in the functions of Assistance for Students of MEGATEC La Union. 2.3 To elaborate a plan to improve the functions of Assistance for Students of MEGATEC La Union. 2.4 To implement the plan elaborated in activity 2.3 to improve the functions of Assistance for Students of MEGATEC La Union. 2.5 To verify the results of implementation in activity 2.4. 3.1 To identify necessary (lacking) technical competences of the teachers of each career. 3.2 To elaborate a plan of training based on the profile defined in activity 3.1 for strengthening of their technical competences. 3.3 To implement the training for the teachers according to the plan elaborated in activity 3.2. 3.4 To modify didactical materials in response to new knowledge acquired in the training of activity 3.3, and realize a presentation with the modified didactical materials (by the teachers). 3.5 To evaluate the presentation of activity 3.4. 	<p style="text-align: center;">Inputs</p> <p>Japanese Side: Long-term experts (more than 1 year): 2</p> <ul style="list-style-type: none"> - Chief Advisor (Leader) / Planning of the improvement for the didactical competences of the teachers - Administrative and Financial Coordinator / Support for the improvement of functions of Assistance for Students <p>Short-term experts (less than 1 year): Development of technical competences:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Logistics and Customs - Port Administration and Operation <p>Related to the development of didactical competences</p> <p>Training program in Japan or any third country: Development of technical competences:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Logistics and Customs - Port Administration and Operation <p>Related to the development of didactical competences</p> <p>Machinery and Equipment:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Vehicle for the activities of Japanese experts - Equipment, machinery and materials that are necessary for the activities of the Project 	<p>The trained teachers continue working at MEGATEC La Union.</p> <p>Pre-conditions:</p> <ul style="list-style-type: none"> - MINED promotes the MEGATEC strategy according to the plan.
	<p>Salvadoran Side:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Counterpart team of the Project (technical, administrative, and teaching staff) - Facilities, office supplies and work-spaces for Japanese experts - Counterpart budget for the operational cost of the Project - Logistical support for experts' field-trips 	

PLAN OF OPERATION [Version 3.0]




Project Title: The Project for the Strengthening of Teaching Quality of MEGATEC La Union
Area: Technical and Technological Education
Period: (January 12, 2009 – January 11, 2012)
Date of Elaboration: December 8, 2010
Date of Modification: December 8, 2010

Expected outputs / Activities	Working Schedule			Person in Charge
	1st Year	2nd Year	3rd Year	
1. Didactical competences of the teachers in MEGATEC La Union have been strengthened for performance in all technical careers.				
1.1 To analyze the didactical methodology used in MEGATEC La Union.				
1-1-1 To obtain the data of the teachers about their levels in the used didactical methodology				
1-1-2 To elaborate instruments for collection of the information and dynamics for obtaining them				
1-1-3 To determine the application grade of the used didactical methodology in the performance of the teachers				
1-1-4 To identify strengths and weaknesses of the used didactical methodology				
1-1-5 To identify improvement points of the used didactical methodology				
1-1-6 To determine contents and timeframes that must be updated and developed				
1.2 To propose other didactical methodology(ies) for MEGATEC La Union.				
1-2-1 To identify the needs of teachers for didactical training				
1-2-2 To determine additional methodologies that the teachers have been trained in				
1-2-3 To identify other didactical methodologies (theoretical, practical)				
1-2-4 To evaluate the contents of other methodologies				
1-2-5 To select the content(s) of other methodology(ies) that could be applied				
1-2-6 To develop training programmes for other methodology(ies) by expert(s)				
1.3 To form an adequate didactical methodology for MEGATEC La Union.				
1-3-1 To determine the content of new methodology, integrating the used didactical methodology and other methodology(ies)				
1-3-2 To review the structure and content by ITCA headquarters				
1-3-3 To elaborate didactical materials for the course				
1-3-4 To define dynamics of teaching of the new methodology				
1-3-5 To establish the system of evaluation of the course				
1-3-6 To select instructors for the course				
1-3-7 To train the instructors in the new methodology				
1.4 To implement the training of the didactical methodology formed in activity 1.3.				
1-4-1 To elaborate a training program				
1-4-2 To elaborate an estimate to impart the training				
1-4-3 To define a facilitator and a support team				
1-4-4 To realize the pilot training				
1-4-5 To evaluate the development of the new methodology				
1-4-6 To realize the training				

Expert PA
 Expert CD
 CP-ITCA

ES


Expected outputs / Activities	Working Schedule			Person in Charge
	1st Year	2nd Year	3rd Year	
<p>2. Functions of Assistance for Students of MEGATEC La Union have been improved to facilitate the promotion and placement efficiently.</p> <p>2.1 To review the functions of Assistance for Students of MEGATEC La Union.</p> <p>2-1-1 To obtain the list of functions</p> <p>2-1-2 To identify the functions that carry activities</p> <p>2-1-3 To prioritize the functions</p> <p>2.2 To identify improvement points in the functions of Assistance for Students of MEGATEC La Union.</p> <p>2-2-1 To identify strengths and weaknesses of the functions</p> <p>2-2-2 To plan an investigation of promotion and placement</p> <p>2-2-3 To implement the plan of investigation</p> <p>2-2-4 To identify and approve improvement points</p> <p>2-2-5 To prioritize the improvement points</p> <p>2.3 To elaborate a plan to improve the functions of Assistance for Students of MEGATEC La Union.</p> <p>2-3-1 To list actions directed to the improvement points</p> <p>2-3-2 To gather the information</p> <p>2-3-3 To prioritize the activities</p> <p>2-3-4 To elaborate schedules of activities of promotion and placement</p> <p>2-3-5 To elaborate plans of action</p> <p>2.4 To implement the plan elaborated in activity 2.3 to improve the functions of Assistance for Students of MEGATEC La Union.</p> <p>2-4-1 To programme agendas of the activities</p> <p>2-4-2 To coordinate and develop the activities</p> <p>2-4-2-1 To elaborate a pamphlet of the MEGATEC La Union</p> <p>2.5 To verify the results of implementation in activity 2.4.</p> <p>2-5-1 To gather the information of the results</p> <p>2-5-2 To identify factors that influence accomplishment of activities</p> <p>2-5-3 To analyze the results (comparison of statistic data)</p> <p>2-5-4 To present the results and prepare the final report</p> <p>2-5-5 To continue a follow-up of activity programming</p>				Expert PA / Expert AE CP-ITCA

Handwritten initials and signatures:   

Expected outputs / Activities	Working Schedule			Person in Charge
	1st Year	2nd Year	3rd Year	
3. Technical competences of the teachers in MEGATEC La Union have been strengthened for performance in technical careers of Logistics and Customs (LyA), and Port Administration and Operation (AOP).				
3.1 To identify necessary (lacking) technical competences of the teachers of each career.				
3-1-1 To identify the training needs of teachers				
3-1-2 To prioritize the training needs related to the strengthening of technical competences				
3.2 To elaborate a plan of training based on the profile defined in activity 3.1 for strengthening of their technical competences.				
3-2-1 To review the training needs by CEPA, La Union Port				
3-2-2 To review the training needs by Japanese experts				
3-2-3 To elaborate a list of courses of training				
3-2-4 To elaborate a programme of the training				
3-2-5 To present a proposal of the programme of the training to the teachers of MEGATEC La Union				
3.3 To implement the training for the teachers according to the plan elaborated in activity 3.2.				
3-3-1 To prepare conditions for the training abroad				
3-3-2 To implement the training abroad				
3-3-3 To prepare conditions for the training in MEGATEC La Union				
3-3-4 To implement the training by the Japanese experts				
3-3-5 To train the teachers of LyA in the articulated institutes				
3.4 To modify didactical materials in response to new knowledge acquired in the training of activity 3.3, and realize a presentation with the modified didactical materials (by the teachers).				
3-4-1 To deliver didactical material by Japanese experts to teachers				
3-4-2 To review the didactical materials considering the new knowledges of the teachers and descriptors of the module				
3-4-3 To include improvements in the didactical materials considering the new knowledge and descriptors of the module				
3.5 To evaluate the presentation of activity 3.4.				
3-5-1 To present and evaluate the new didactical materials by the core group				
3-5-2 To make the new didactical materials available to the students				

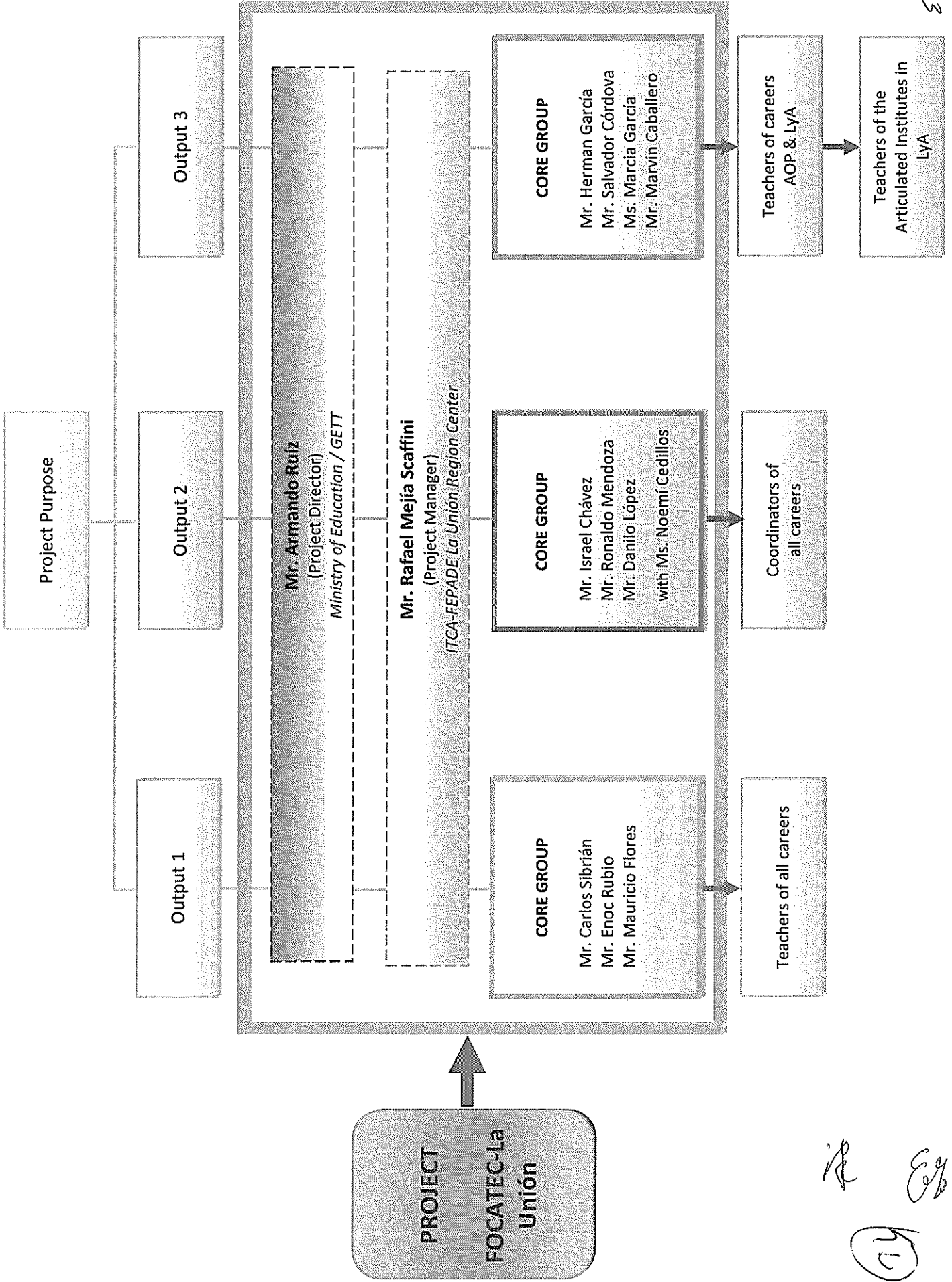
Abbreviations:

- GETT Management of Technical and Technological Education of the Ministry of Education
- ITCA Specialized Engineering School ITCA-FEPADE
- CP-ITCA Counterparts of the Regional of ITCA La Union
- Expert PA Chief Advisor / Planning of improvement for didactical competences of the teachers
- Expert AE Administrative and Financial Coordinator / Support for improvement of functions of Assistance for Students
- Expert CD Expert of didactic competences
- Expert LyA Technical expert of the career of Logistics and Customs
- Expert AOP Technical expert of the career of Port Administration and Operation





ORGANIZATION CHART OF COUNTERPARTS OF EACH OU UT (version 2.0)



ES

Handwritten initials and a circled number 14.

資料 2. プロジェクトデザインマトリクス (PDM) (日本語版、英語版、西語版)

プロジェクトデザインマトリックス

プロジェクト名: MEGATEC ラウニオン校指導力向上プロジェクト

実施期間: 2009 年 1 月 12 日～2012 年 1 月 11 日

No.: Ver.3.0

対象地域: エルサルバドル国東部地域

ターゲットグループ: MEGATEC ラウニオン校

作成日: 2010 年 12 月 8 日

プロジェクトの要約	指標	指標データ入手手段	外部条件
<p>上位目標: 東部地域開発に必要なテクニコレベルまたはそれ以上の人材が輩出される。</p> <p>プロジェクト目標: MEGATEC ラウニオン校の運営及びテクニコレベルの教育・訓練内容が東部地域開発に対応するよう改善される。</p> <p>成果 1: MEGATEC ラウニオン校の教員の指導能力が強化される。</p>	<p>1. 東部地域におけるテクニコレベルまたはそれ以上の人材の割合が増加する。</p> <p>1. MEGATEC ラウニオン校卒業生の就職者のうち、80%以上が東部地域で就職する。</p> <p>2. MEGATEC ラウニオン校の卒業生を受け入れた東部地域における企業の満足度が 8 割を達成する。</p> <p>1.1 MEGATEC ラウニオン校に新たに適用した指導法のマニュアルが作成される。</p> <p>1.2 新たに適用した指導法に関連する研修が C/P によって 2 回以上実施される。</p> <p>1.3 MEGATEC ラウニオン校の正規雇用教員の 80%以上が新たに適用した指導法研修を修了する。</p>	<p>1. ITCA 資料(卒業生アンケート)</p> <p>2. ITCA 資料(企業アンケート)</p> <p>1.1 新たに適用した指導法のマニュアル</p> <p>1.2 プロジェクト報告書</p> <p>1.3 プロジェクト報告書</p>	<p>-ラウニオン港が機能し、一定の寄港船数が保たれる。</p> <p>-テクニコレベルの人材ニーズが急激に変化しない。</p> <p>-訓練を受けた教員が MEGATEC ラウニオン校に継続して勤務する。</p> <p>-卒業者の増加に応じた人材の需要が認められる。</p>
<p>成果 2: MEGATEC ラウニオン校の学生課機能(学生募集、就職支援)が向上する。</p>	<p>2.1 MEGATEC ラウニオン校の現状に即した学校案内書が作成される。</p> <p>2.2 MEGATEC ラウニオン校の応募人数が最大受入可能学生数(1,000 人/1 学年)の 50%以上を維持する。(*)</p> <p>2.3 MEGATEC ラウニオン校で就職支援に係るイベントが 4 回以上実施される。</p>	<p>2.1 作成された学校案内書</p> <p>2.2 ITCA 資料(応募データ)</p> <p>2.3 プロジェクト報告書</p>	
<p>成果 3: MEGATEC ラウニオン校の物流税関科及び港湾運営管理科において、教員の技術能力が強化される。</p>	<p>3.1 物流税関科/港湾運営管理科の技術能力強化のための教員研修計画が作成される。</p> <p>3.2 物流税関科/港湾運営管理科の授業用教材が 2 回以上改訂される。</p>	<p>3.1 作成された教員研修計画</p> <p>3.2 教材改訂履歴</p>	

活動	投入		
1.1 MEGATEC ラウニオン校における現在の指導法を分析する。 1.2 MEGATEC ラウニオン校にとって新しい指導法を紹介する。 1.3 MEGATEC ラウニオン校に適用可能な指導法を作成する。 1.4 作成した指導法の研修を行う。	<日本側> 【長期専門家】 -チーフアドバイザー/指導力向上計画 -業務調整/学生課機能向上 【短期専門家】 -物流税関 -港湾運営管理 -指導法等 【本邦研修/第3国研修】 -港湾運営管理 -物流税関 -指導法等 【機材供与】 -専門家活動用車両 -その他プロジェクト実施に必要な機材	<エルサルバドル側> -カウンターパートの配置 -専門家オフィス、施設、勤務スペース等 -事業運営に係るカウンターパートコスト -専門家が視察を行う際の便宜等	- 訓練を受けた教員が MEGATEC ラウニオン校に継続して勤務する。
2.1 MEGATEC ラウニオン校の学生課の現在の機能を確認する。 2.2 MEGATEC ラウニオン校の学生課の課題を抽出する。 2.3 MEGATEC ラウニオン校の学生課の改善案を作成する。 2.4 MEGATEC ラウニオン校の学生課改善案を実施する。 2.5 実施結果を検証する。			
3.1 物流税関科/港湾運営管理科の教員に必要な(不足している)現在の技術能力を確認・検証する。 3.2 物流税関科/港湾運営管理科の教員に対する技術能力強化のための研修計画を作成する。 3.3 物流税関科/港湾運営管理科の教員研修を実施する。 3.4 物流税関科/港湾運営管理科の教員がI;@p研修内容に沿って授業用教材を改訂し、発表する。 3.5 物流税関科/港湾運営管理科の教員が行う発表を評価する。			前提条件: -教育省が MEGATEC プログラムを計画どおり推進する。

(*) 指標 2.2 に関する注釈:

最大受入可能生徒数とは、施設・設備・学科学・教員(雇用可能)数などを考慮して教育省とITCA-FEPADE が設定した1学年当たりの受入可能人数であり、フェーズII施設が完成し7学科(物流税関学科は大卒コースも含めて1学科と数える)を設置して以降の2009年からは1,000人としている。しかしながら現実的な施設内容や教員数、教員のレベルを考慮すると1学年1,000人という数字は物質的には可能でも質的には限界を超えると懸念される。またこれまでの実績から応募人数はその30~35%程度(300人~350人)であることも鑑み、プロジェクト指標として50%(500人)を適切な受入可能生徒数と見なし目標達成とすることで合意した。

【参考データ】2009年応募人数(2008年11月):326人(但し漁業、養殖、物流税関大卒コースは含まない)、2010年応募人数(2009年11月):349人

PROJECT DESIGN MATRIX (PDM) [Version 3.0]

Project Title: The Project for the Strengthening of Teaching Quality of MEGATEC La Union

Date of Elaboration: December 8, 2010

Area: Technical and technological Education

Date of Modification: December 8, 2010

Geographical Site of Project Execution: Department of La Union in the Eastern Region of El Salvador

Prepared by: The Ministry of Education of El Salvador (MINED) through the Management of Technical and Technological Education (GETT), The Specialized Engineering School ITCA-FEPADE (ITCA-FEPADE) and the Japan International Cooperation Agency (JICA)

Period: 3 Years (January 12, 2009 – January 11, 2012)

Target Beneficiaries: Direct: MEGATEC La Union, managed by the branch office of ITCA-FEPADE

Indirect: MEGATEC network, productive sectors of the Eastern Region, future and current students of the MEGATEC La Union (Estimated of 2,500 beneficiaries per year)

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of verification	Important Assumptions
<p>Overall Goal: Human resources at the technical or higher level are produced for development in the eastern region.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - Percentage of human resources at the technical or higher level increases in the eastern region. 		<ul style="list-style-type: none"> - The Port of La Union is in operation and keeps a constant number of container vessels.
<p>Project Purpose: Academic and technical education imparted at MEGATEC La Union has been improved in order to respond to development in the eastern region.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - Among graduates, of the MEGATEC La Union, who are employed, at least 80% of them are placed in the eastern region. - The satisfaction level of the companies in the eastern region that employ graduates of the MEGATEC La Union marks more than 80%. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Progress report of placement of ITCA-FEPADE (Questionnaire survey of the graduates of the MEGATEC La Union) 2. Progress report of placement of ITCA-FEPADE (Questionnaire survey of the companies) 	<ul style="list-style-type: none"> - The dynamics of the needs of human resources at the technical level do not change drastically.
<p>Outputs:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Didactical competences of the teachers in MEGATEC La Union have been strengthened for performance in all technical careers. 2. Functions of Assistance for Students of MEGATEC La Union have been improved to facilitate the promotion and placement efficiently. 3. Technical competences of the teachers at MEGATEC La Union have been strengthened for performance in technical careers of Logistics and Customs (LYA), and Port Administration and Operation (AOP). 	<ol style="list-style-type: none"> 1.1 A Manual of the new didactical methodology is elaborated. 1.2 Trainings related to the new didactical methodology are given by the counterparts at least two (2) times. 1.3 At least 80% of full-time employed teachers of the MEGATEC La Union have been trained in the new didactical methodology. 2.1 A Promotional Pamphlet, which is adapted to the situation of MEGATEC La Union, is elaborated. 2.2 The number of applicants is maintained at least 50% of the maximum capacity (1,000) of MEGATEC La Union. 2.3 Events for improvement of the placement program of MEGATEC La Union are held at least four (4) times. 3.1 A plan of training for the strengthening of technical competences of the teachers in the careers of LYA & AOP is elaborated. 3.2 Didactical materials of the careers of LYA and AOP are reviewed at least two (2) times. 	<ol style="list-style-type: none"> 1.1 Manual of the new didactical methodology 1.2 Progress report of the Project 1.3 Progress report of the Project 2.1 Promotional Pamphlet 2.2 Progress report on the promotion of ITCA-FEPADE (Statistic of applicants) 2.3 Progress report of the Project 3.1 Plan of training for technical competences of the teachers 3.2 Modification report of the didactical materials 	<ul style="list-style-type: none"> - The trained teachers continue working at MEGATEC La Union. - There is a need for human resources as the number of graduates grows.

<p>Activities:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.1 To analyze the didactical methodology used in MEGATEC La Union. 1.2 To propose other didactical methodology(ies) for MEGATEC La Union. 1.3 To form an adequate didactical methodology for MEGATEC La Union. 1.4 To implement the training of the didactical methodology formed in activity 1.3. 2.1 To review the functions of Assistance for Students of MEGATEC La Union. 2.2 To identify improvement points in the functions of Assistance for Students of MEGATEC La Union. 2.3 To elaborate a plan to improve the functions of Assistance for Students of MEGATEC La Union. 2.4 To implement the plan elaborated in activity 2.3 to improve the functions of Assistance for Students of MEGATEC La Union. 2.5 To verify the results of implementation in activity 2.4. 3.1 To identify necessary (lacking) technical competences of the teachers of each career. 3.2 To elaborate a plan of training based on the profile defined in activity 3.1 for strengthening of their technical competences. 3.3 To implement the training for the teachers according to the plan elaborated in activity 3.2. 3.4 To modify didactical materials in response to new knowledge acquired in the training of activity 3.3, and realize a presentation with the modified didactical materials (by the teachers). 3.5 To evaluate the presentation of activity 3.4. 	<p style="text-align: center;">Inputs</p> <p>Japanese Side:</p> <p>Long-term experts (more than 1 year): 2</p> <ul style="list-style-type: none"> - Chief Advisor (Leader) / Planning of the improvement for the didactical competences of the teachers - Administrative and Financial Coordinator / Support for the improvement of functions of Assistance for Students <p>Short-term experts (less than 1 year):</p> <p>Development of technical competences:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Logistics and Customs - Port Administration and Operation <p>Related to the development of didactical competences</p> <p>Training program in Japan or any third country:</p> <p>Development of technical competences:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Logistics and Customs - Port Administration and Operation <p>Related to the development of didactical competences</p> <p>Machinery and Equipment:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Vehicle for the activities of Japanese experts - Equipment, machinery and materials that are necessary for the activities of the Project 	<p>Salvadoran Side:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Counterpart team of the Project (technical, administrative, and teaching staff) - Facilities, office supplies and work-spaces for Japanese experts - Counterpart budget for the operational cost of the Project - Logistical support for experts' field-trips 	<ul style="list-style-type: none"> - The trained teachers continue working at MEGATEC La Union. <p>Pre-conditions:</p> <ul style="list-style-type: none"> - MINED promotes the MEGATEC strategy according to the plan.
---	---	---	---

MATRIZ DE DISEÑO DEL PROYECTO (PDM) [Versión 3.0]

Título del Proyecto: Fortalecimiento de la Calidad Académica y Técnica del MEGATEC con Sede en La Unión
Área: Educación Técnica y Tecnológica

Fecha de elaboración: 8 de diciembre de 2010
Fecha de modificación: 8 de diciembre de 2010

Sitio Geográfico de Ejecución Directa del Proyecto: Departamento de La Unión en la Región Oriental de El Salvador
Período: 3 Años (12 de enero de 2009 – 11 de enero de 2012)

Preparada por: El Ministerio de Educación de El Salvador (MINED) a través de la Gerencia de Educación Técnica y Tecnológica (GETT), La Escuela Especializada en Ingeniería ITCA-FEPADE (ITCA-FEPADE) y la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (JICA)

Grupo de Beneficiarios: Directos: MEGATEC con Sede en La Unión, administrado por la regional de ITCA-FEPADE
 Indirectos: Red MEGATEC, sectores productivos de la Región Oriental, estudiantes futuros y actuales del MEGATEC con Sede en La Unión. (Aproximadamente más de 2,500 beneficiarios por año)

Resumen Narrativo	Indicadores Objetivamente Verificables	Medios de Verificación	Supuestos Importantes
<p>Objetivo Superior: Los recursos humanos a nivel técnico o más alto se forman para el desarrollo de la zona oriental.</p>	<p>1. Se aumenta el porcentaje del recurso humano a nivel técnico o más alto en la zona oriental.</p>		<p>- El Puerto de La Unión está en funcionamiento y mantiene el número de barcos constantemente.</p>
<p>Objetivo del Proyecto: Se ha mejorado la educación académica y técnica impartida en el MEGATEC con Sede en La Unión para responder al desarrollo de la zona oriental.</p>	<p>1. Entre los graduados del MEGATEC con Sede en La Unión que están laborando, se colocan en la zona oriental al menos el 80 %.</p> <p>2. Se marca más que un 80% de satisfacción de las empresas en la zona oriental que emplean los graduados del MEGATEC con Sede en La Unión.</p>	<p>1. Informe del avance de colocación de ITCA-FEPADE (Encuesta a los graduados del MEGATEC con Sede en La Unión)</p> <p>2. Informe del avance de colocación de ITCA-FEPADE (Encuesta a las empresas)</p>	<p>- El dinamismo de las necesidades de los recursos humanos a nivel técnico no se cambia drásticamente.</p>
<p>Resultados:</p> <p>1. Las competencias didácticas de los docentes del MEGATEC con Sede en La Unión han sido fortalecidas para el desempeño en todas las carreras técnicas.</p> <p>2. La función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con Sede en La Unión ha sido mejorada para facilitar la promoción y colocación eficientemente.</p> <p>3. Las competencias técnicas de los docentes del MEGATEC con Sede en La Unión han sido fortalecidas para el desempeño en las carreras técnicas de Logística y Aduanas (LyA), y Administración y Operación Portuaria (AOP).</p>	<p>1.1 Se elabora el manual de la nueva metodología didáctica.</p> <p>1.2 Se realiza la capacitación relacionada a la nueva metodología didáctica por los contrapartes, por lo menos dos (2) veces.</p> <p>1.3 Al menos el 80% de los docentes permanentes del MEGATEC con Sede en La Unión han sido capacitados en la nueva metodología didáctica.</p> <p>2.1 Se elabora un Folleto Promocional adaptado a la situación del MEGATEC con Sede en La Unión.</p> <p>2.2 Se mantiene el número de aspirantes al menos un 50% de la capacidad máxima (1,000) del MEGATEC con Sede en La Unión.</p> <p>2.3 Se realizan al menos 4 eventos para mejorar el programa de colocación en el MEGATEC con Sede en La Unión.</p> <p>3.1 Se elabora un plan de la capacitación para el fortalecimiento de sus competencias técnicas de los docentes de las carreras de LyA y AOP.</p> <p>3.2 Se revisan los materiales didácticos de las carreras de LyA y AOP, por lo menos dos (2) veces.</p>	<p>1.1 Manual de la nueva metodología didáctica</p> <p>1.2 Informe del avance del Proyecto</p> <p>1.3 Informe del avance del Proyecto</p> <p>2.1 Folleto Promocional</p> <p>2.2 Informe del avance de promoción de ITCA-FEPADE (Estadística de Aspirantes)</p> <p>2.3 Informe del avance del Proyecto</p> <p>3.1 Plan de la capacitación de las competencias técnicas de los docentes</p> <p>3.2 Informe de la modificación de los materiales didácticos</p>	<p>- Los docentes capacitados siguen trabajando en el MEGATEC con Sede en La Unión.</p> <p>- Hay necesidad del recurso humano respondiendo al aumento del número de los graduados.</p>

<p>Actividades:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.1 Analizar la metodología didáctica utilizada en el MEGATEC con Sede en La Unión. 1.2 Proponer otra(s) metodología(s) didáctica(s) para el MEGATEC con Sede en La Unión. 1.3 Formular una metodología didáctica adecuada para el MEGATEC con Sede en La Unión. 1.4 Implementar la capacitación de la metodología didáctica formulada en la actividad 1.3. 2.1 Revisar la función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con Sede en La Unión. 2.2 Identificar puntos de mejora en la función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con Sede en La Unión. 2.3 Elaborar el plan para mejorar la función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con Sede en La Unión. 2.4 Ejecutar el plan elaborado en la actividad 2.3 para mejorar la función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con sede en La Unión. 2.5 Verificar los resultados de la ejecución en la actividad 2.4. 3.1 Identificar las competencias técnicas necesarias (faltas) de los docentes de cada carrera. 3.2 Elaborar un plan de la capacitación en base al perfil definido en la actividad 3.1 para el fortalecimiento de sus competencias técnicas. 3.3 Implementar la capacitación a los docentes según el plan elaborado en la actividad 3.2. 3.4 Modificar los materiales didácticos respondiendo a los nuevos conocimientos adquiridos en la capacitación de la actividad 3.3, y realizar una presentación con los materiales didácticos modificados (por los docentes). 3.5 Evaluar las presentaciones de la actividad 3.4. 	<p style="text-align: center;">Insumos</p> <p>Parte Japonesa:</p> <p>Expertos de Largo Plazo (más de 1 año): 2</p> <ul style="list-style-type: none"> - Primer Asesor (Líder) del Proyecto / Planificación del mejoramiento de las competencias didácticas de los docentes - Coordinador administrativo y financiero / Apoyo al mejoramiento de la función de Asistencia Estudiantil <p>Expertos de Corto Plazo (menos de 1 años):</p> <p>Desarrollo de Competencias Técnicas:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Logística y Aduanas - Administración y Operación Portuaria <p>Relacionado al Desarrollo de Competencias Didácticas:</p> <p>Entrenamiento en el Japón o un Tercero País:</p> <p>Desarrollo de Competencias Técnicas:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Logística y Aduanas - Administración y Operación Portuaria <p>Relacionado al Desarrollo de Competencias Didácticas</p> <p>Maquinaria y Equipo:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Vehículo para las actividades de los expertos japoneses - Equipos, maquinaria y materiales necesarios para las actividades del Proyecto 	<ul style="list-style-type: none"> - Los docentes capacitados siguen trabajando en el MEGATEC con Sede en La Unión. <p>Parte Salvadoreña:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Equipo contraparte del Proyecto (técnico, administrativo y docente) - Instalaciones, recursos de oficina y espacios de trabajo para los expertos japoneses - Presupuesto de contrapartida para los costos de operación del Proyecto - Apoyo logístico para las visitas de campo de los expertos <p>Condiciones Previas:</p> <ul style="list-style-type: none"> - El MINED promueve la Estrategia MEGATEC de acuerdo al plan establecido.
--	--	---

資料 3. プランオブオペレーション(PO) (日本語版、英語版、西語版)

活動	活動詳細	進捗																																				メンバー														
		2009						2010						2011						2012																																
		~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1																					
3.3 3.2で作成した研修 計画に沿って、各校 の教員研修を実施 する。	3-3-1 教員らと日本人専門家のチーム で研修スケジュールを作成す る。																																							G.N. Exp. JP												
	N/A																																													G.N. Exp. JP						
	3-3-2 日本人専門家と教員らで研修実 施のための調査をする。																																															G.N. Exp. JP				
	N/A																																										G.N.									
	3-3-1 海外での研修の準備をする。																																																	2学科教員		
	3-3-5 海外での研修を実施する。																																																	G.N.		
	3-3-2 海外での研修を実施する。																																																		G.N.	
	3-3-3 研修の準備をする。																																																		G.N.	
	3-3-3 MEGATECラウンジ校内での 研修の準備をする。																																																		G.N. 2学科教員 提携高校教員 Exp. JP	
	3-3-4 日本人専門家による研修を実施 する。																																																			G.N. 2学科教員 提携高校教員 Exp. JP
	3-3-6 提携高校の物流・関税科の教員 らに研修を実施する。																																																			G.N. 2学科教員 提携高校教員 Exp. JP
	3-3-5 提携高校の物流・関税科の教員 らに研修を実施する。																																																			G.N. 2学科教員 提携高校教員 Exp. JP

活動	活動詳細	進捗																																				メンバー
		2009								2010								2011								2012												
		~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2						
3.5 各科の教員が行う 3.4の実践を評価す る。	3-5-1 コアグループと日本人専門家で 新しい指導教材を評価する。 P	[Green]																																				G.N. Exp. JP
		3-5-1 コアグループによる新しい指導 教材の表と評価を行う。 M	[Red]																																			
	3-5-2 学生に新しい指導教材を提供す る。 P	[Green]																																				2学科教員
M	[Red]																																					

P = 計画

A = 実際

M = 修正

N/A = 適用なし

G.N.: コア・グループ

- ヘルマン・ガルシア
- サルバドール・コルドバ
- マルシア・ガルシア
- マルビン・カバジェロ

Exp. JP: 日本人専門家(短期)

計画

LYA: 物流税関学科

AOP: 港務運営管理学科

実施済

修正プラン

Activity	Details of Activity	Progress												Members																
		2009			2010			2011			2012																			
		~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
3.3 To implement the training for the teachers according to the plan elaborated in activity 3.2.	3-3-1 To elaborate training schedules with the teachers and Japanese experts	P	G.N. Exp. JP																											
			G.N. Exp. JP																											
	3-3-2 To coordinate the implementation of the training with the Japanese experts and the teachers	P	G.N. Exp. JP																											
			G.N. Exp. JP																											
	3-3-1 To prepare conditions for the training abroad	M	G.N.																											
			G.N.																											
	3-3-5 To implement the training abroad	P	Teachers of LYA & AOP																											
			Teachers of LYA & AOP																											
	3-3-2 To implement the training abroad	M	G.N.																											
			G.N.																											
	3-3-3 To prepare conditions for the training	P	G.N.																											
G.N.																														
3-3-3 To prepare conditions for the training in MEGATEC La Union	M	G.N.																												
		G.N.																												
3-3-4 To implement the training by the Japanese experts	P	G.N. Teachers of LYA & AOP, Teachers of the articulated institutes, Exp. JP																												
		G.N. Teachers of LYA & AOP, Teachers of the articulated institutes																												
3-3-6 To train the teachers of LYA in the articulated institutes	P	G.N. Teachers of LYA & AOP, Teachers of the articulated institutes																												
		G.N. Teachers of LYA & AOP, Teachers of the articulated institutes																												
3-3-5 To train the teachers of LYA in the articulated institutes	M	G.N. Teachers of LYA & AOP, Teachers of the articulated institutes																												
		G.N. Teachers of LYA & AOP, Teachers of the articulated institutes																												

Activity	Details of Activity	Progress																								Members		
		2009					2010												2011						2012			
		~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2								
3.5 To evaluate the presentation of activity 3.4.	3-5-1 To evaluate the new didactical materials by the core group and the Japanese experts	P																										G.N. Exp. JP
		M																										
	3-5-2 To make the new didactical materials available to the students	P																										Teachers of LYA & AOP
			M																									

P = Planned

A = Actual

M = Modified


N/A = Not Applicable


G.N.: CORE GROUP

- Mr. Herman García
- Mr. Salvador Córdoba
- Ms. Marcia García
- Mr. Marvin Caballero

Exp. JP: Japanese Expert(s)
(Short Term)

-  **Planned (2 careers)**
- LYA:** Logistics and Customs
- AOP:** Port Administration and Operation

 **Realized**

 **Modified**

Actividad	Detalles de Actividad	Membros	Progreso																																																											
			2009												2010												2011												2012																							
			~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12							
1.2 Proponer otra(s) metodología(s) didáctica(s) para el MEGATEC con Sede La Unión.	1-2-1 Identificar las necesidades de formación didáctica de los docentes	P	Orange												Gray	Light Green													Purple																																	
			A	Light Green													Purple																																													
	1-2-2 Determinar las metodologías adicionales en que los docentes han sido formado	P		Orange													Light Green													Purple																																
			A	Light Green													Purple																																													
	1-2-3 Identificar otras metodologías didácticas (teóricas, prácticas)	P		Orange													Green	PROTIS	Light Green													Purple																														
			A	Light Green												CBT			Light Green														Purple																													
Light Green												Light Green												Purple																																						
1-2-4 Evaluar el contenido de otras metodologías	P	Orange												Green	Light Green													Purple																																		
		A	Light Green												Zona Adicional: (C-I-F)	Light Green													Purple																																	
1-2-5 Seleccionar contenido(s) de otra(s) metodología(s) que se podría(n) aplicar	P		Orange													Green	Light Green													Purple																																
		A	Light Green												Gray		Light Green														Purple																															
1-2-6 Desarrollar capacitación de otra(s) metodología(s) por parte del experto(s)	P		Orange													Light Green													Purple																																	
		A	Light Green													Light Green														Purple																																
			Light Green													Light Green														Purple																																

(Aporte de proyecto por ITCA)

Resultado 2: La función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con Sede en La Unión ha sido mejorada para facilitar la promoción y colocación eficientemente.

Actividad	Detalles de Actividad		Progreso																								Miembros																	
			2009						2010						2011						2012																							
			~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2.1 Revisar la función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con Sede en La Unión.	2-1-1 Obtener lista de funciones	P	~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	G.N.
		A	~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	G.N.
	2-1-2 Identificar las funciones que conllevan a las actividades	P	~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	G.N.
		A	~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	G.N.
	2-1-3 Priorizar las funciones	P	~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	G.N.
		A	~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	G.N.
2.2 Identificar puntos de mejora en la función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con Sede en La Unión.	2-2-1 Identificar las fortalezas y debilidades de las funciones	P	~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	G.N.
		A	~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	G.N.
	2-2-2 Planificar la investigación de promoción y colocación	P	~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	G.N. Directores
		A	~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	G.N. Directores
	2-2-3 Ejecutar el plan de la investigación	P	~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	G.N.
		A	~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	G.N.
	2-2-4 Identificar y aprobar los puntos de mejora	P	~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	G.N.
		A	~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	G.N.
	2-2-5 Priorizar los puntos de mejora	P	~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	G.N.
		A	~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	G.N.

Actividad	Detalles de Actividad	Progreso																								Miembros														
		2009						2010						2011						2012																				
		~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2.5 Verificar los resultados de la ejecución en la actividad 2.4.	2-5-1 Recolectar la información de los resultados	P																									G.N.													
		Pro. M																									G.N. Directores Coordinadore s													
	2-5-2 Identificar los factores que influyen en la realización de actividades	P																									G.N. Directores Coordinadore s													
		Pro. M																									G.N. Directores													
	2-5-3 Analizar los resultados (comparación de datos estadísticos)	P																									G.N. Directores													
		M																									G.N. Directores													
	2-5-4 Presentar los resultados finales	P																									G.N. Directores													
		M																									G.N. Directores Coordinadore s Docentes													
	2-5-5 Continuar seguimiento de programación de actividades	P																									G.N. Directores Coordinadore s Docentes													
		M																									G.N. Directores Coordinadore s Docentes													

P = Planificado

A = Actual

M = Modificado

N/A = No Aplica

G.N.: GRUPO NÚCLEO

* GN ANTERIOR

- Lic. Noemi Cedillos
- Lic. César Osorio
- Dra. Maritza Ruiz

* GN NUEVO

- Lic. José Israel Chávez
- Lic. Ronaldo Mendoza
- Lic. Danilo López
- con Lic. Noemi Cedillos

Planificado

Realizado GN Anterior

Realizado GN Nuevo

Modificado

Pro. = Promoción

Co. = Colocación

Resultado 3: Las competencias técnicas de los docentes del MEGATEC con Sede en La Unión han sido fortalecidas para el desempeño en las carreras técnicas de Logística y Aduanas (LyA), y Administración y Operación Portuaria (AOP).

Actividad	Actividad	Detalles de Actividad	Progreso																								Miembros					
			2009						2010						2011						2012											
3.1	Identificar las competencias técnicas necesarias (faltas) de los docentes de cada carrera.	3.1-1 Identificar necesidades de capacitación por parte de los docentes	~8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
3.1	Identificar las competencias técnicas necesarias (faltas) de los docentes de cada carrera.	3.1-1	P	[Green]						[Green]						[Green]						[Green]						G.N.				
		A	[Green]						[Green]						[Green]						[Green]						G.N.					
3.1	Identificar las competencias técnicas necesarias (faltas) de los docentes de cada carrera.	3.1-2	P	[Green]						[Green]						[Green]						[Green]						G.N.				
		A	[Green]						[Green]						[Green]						[Green]						G.N.					
3.1	Identificar las competencias técnicas necesarias (faltas) de los docentes de cada carrera.	3.1-3	P	[Green]						[Green]						[Green]						[Green]						G.N.				
		A	[Green]						[Green]						[Green]						[Green]						G.N.					
3.2	Elaborar un plan de la capacitación en base al perfil definido en la actividad 3.1 para el fortalecimiento de sus competencias técnicas.	3.2-1	A	[Green]						[Green]						[Green]						[Green]						G.N.				
		M	[Green]						[Green]						[Green]						[Green]						G.N.					
3.2	Elaborar un plan de la capacitación en base al perfil definido en la actividad 3.1 para el fortalecimiento de sus competencias técnicas.	3.2-2	M	[Green]						[Green]						[Green]						[Green]						G.N.				
		P	[Green]						[Green]						[Green]						[Green]						G.N.					
3.2	Elaborar un plan de la capacitación en base al perfil definido en la actividad 3.1 para el fortalecimiento de sus competencias técnicas.	3.2-3	M	[Green]						[Green]						[Green]						[Green]						G.N.				
		P	[Green]						[Green]						[Green]						[Green]						G.N.					
3.2	Elaborar un plan de la capacitación en base al perfil definido en la actividad 3.1 para el fortalecimiento de sus competencias técnicas.	3.2-4	M	[Green]						[Green]						[Green]						[Green]						G.N.				
		P	[Green]						[Green]						[Green]						[Green]						G.N.					
3.2	Elaborar un plan de la capacitación en base al perfil definido en la actividad 3.1 para el fortalecimiento de sus competencias técnicas.	3.2-5	M	[Green]						[Green]						[Green]						[Green]						G.N.				
		P	[Green]						[Green]						[Green]						[Green]						G.N.					

資料 4. JCC 発表資料

DIRECCIÓN del PROYECTO

FQCATEG La Unión
FORTALECIMIENTO DE LA CALIDAD ACADÉMICA Y TÉCNICA DEL MEGATEC CON SEDE EN LA UNIÓN

**2do Comité Coordinador Conjunto (CCC)
Diciembre 2010**

*Ing. Katsuzo TSUBATA
Primer Asesor del Proyecto*

CONTENIDO

- I. Situación Actual***
- II. Modificación de PDM* & PO*****
- III. Plan Futuro***

***PDM:** Matriz de Diseño del Proyecto (Project Design Matrix)

****PO:** Plan de Operación

1. Los Temas en el 1er OOC

① Apertura del Puerto de La Unión

Situación Actual: Abrió en Junio 2010

Punto Fuerte: Falta de Vinculación con CEPA

Asunto: No está en funcionamiento → **Modificación de PDM**

② Adecuación entre Necesidades y Actividades

Situación Actual: Ejecución con los Grupos Nucleos (GN.) de cada Resultado

Punto Fuerte: Desarrollo de las actividades efectivamente

Asunto: Inadecuación de selección de miembro

→ **Cambio y Agregación de los Miembros**

③ Involucramiento de las Instituciones O/Ps

Situación Actual: Realización de Reunión Periódica mensual

Punto Mejora: Colaboración activa por las instituciones O/Ps

Asunto: No se ve

2. Los Temas después del 1er OOC

④ Cambio del Personal de las Instituciones O/Ps

Situación Actual: Nueva Rectoría de ITCA-FEPADE y Nueva Gestión de MINED

Punto Fuerte: Falta de Vinculación con las autoridades

Asunto: No se ve → **Modificación de Organigrama**

⑤ Retrazo de Envío de Expertos Japoneses

Situación Actual: Nuevo Primer Asesor de Mayo 2010, Envío del Equipo de los Expertos de Portuaria y LyA en Octubre 2010

Punto Fuerte: Ejecución de las actividades de cada Resultado efectivamente con los Expertos de su área especial

Asunto: Retrazo de PO → **Modificación de PDM & PO**

1. Objetivo de la 2da Misión de Consulta

Orientar la dirección del Proyecto más factible considerando la situación y los asuntos actuales, para finalizar exitosamente en un año restante.



Modificación de PDM & PO

2. Modificación de PDM

Objetivo del Proyecto:

VERSIÓN 2.0 (Oct. 2009):

Se ha mejorado la educación académica y técnica impartida en el MEGATEC con Sede en La Unión para responder a la necesidad local.



VERSIÓN 3.0 (Dic. 2010):

Se ha mejorado la educación académica y técnica impartida en el MEGATEC con Sede en La Unión para responder al desarrollo de la zona oriental.

2. Modificación de PDM

Indicador de Objetivo del Proyecto:

VERSIÓN 2.0 (Oct. 2009):

2. Al menos el 80% de los graduados del MEGATEC con Sede en La Unión, se colocan en la zona oriental.



VERSIÓN 3.0 (Dic. 2010):

2. Entre los graduados del MEGATEC con Sede en La Unión que están laborando, se colocan en la zona oriental al menos el 80 %

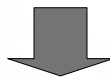
2. Modificación de PDM

Indicadores de Resultado 2:

VERSIÓN 2.0 (Oct. 2009):

2.2. Se aumenta el número de aspirantes de cada carrera.

2.3. Se aumenta el porcentaje de colocación por el programa del MEGATEC con Sede en La Unión.



VERSIÓN 3.0 (Dic. 2010):

2.2. Se mantiene el número de aspirantes al menos un 50% de la capacidad máxima (1,000) del MEGATEC con Sede en La Unión.

2.3. Se realizan al menos 4 eventos para mejorar el programa de colocación en el MEGATEC con Sede en La Unión.

2. Modificación de PDM

Supuestos Importantes de Objetivo Superior:

VERSIÓN 2.0 (Oct. 2009):

Se realiza la apertura del Puerto de La Unión.

VERSIÓN 3.0 (Dic. 2010):



El Puerto de La Unión está en funcionamiento y mantiene el número de barcos constantemente.

Supuestos Importantes de Resultado:

VERSIÓN 3.0 (Dic. 2010):

Hay necesidad del recurso humano respondiendo al aumento del número de los graduados.

3. Modificación de PO

PO está modificado considerando los puntos de:

- Tiempo actualizado las actividades
- Tiempo disponible de los CPs
- Plan de envío de Expertos Japoneses
- Plan de las Capacitaciones Exteriores
- Tiempo de la Misión de Evaluación Final

4. Cambio de la Organigrama del Proyecto

Cambio del Director del Proyecto por:

- Nueva Gestión del MINED

Cambio y Agregación de Los Miembros de GN por:

- Su cargo y capacidad respondiendo a la area del resultado
- Su disponibilidad para las actividades del Proyecto

1. Insumo del Año 2011

Expertos Japoneses:

Expertos de Largo Plazo

- **Primer Asesor**
Planificación del mejoramiento de las competencias didácticas:
Ing. Katsuzo TSUBATA (de mid. de Febrero~)
- **Coordinador**
Apoyo al mejoramiento de la función de Asistencia Estudiantil:
Lic. Toru NAKAZAWA (de inicio de Enero~)

Expertos de Corto Plazo

- Expertos de Logística & Aduana y Adm. & Operación Portuaria:
El Equipo de OODI (Octubre)
- Experto(s) de competencia didáctica:
Según su necesidad

1. Insumo del Año 2011

Capacitaciones Exteriores:

Capacitaciones en Japón

- **Capacitación Diseñada por el Proyecto:**
Logística & Aduana y Adm. & Operación Portuaria
(de mid. de Junio ~ mid. de Agosto)
- **Capacitaciones Establecidas:**
para la area de Educación Vocacional (según su necesidad)

Capacitación en el Tercero Paiz

- **Capacitación de PROTSen Guatemala:**
para area de Competencia Didáctica (Febrero ~ Marzo)

2. Finalización del Proyecto

Evaluación Final del Proyecto:

Misión de la Evaluación Final

- **Tiempo:**
6 meses antes del final de Proyecto (entre Junio ~ Agosto)
- **Criterios de Evaluación:**
 - ✓ Relevancia
 - ✓ Efectividad
 - ✓ Eficiencia
 - ✓ Impacto
 - ✓ Sostenibilidad

3er CCC

- **Tiempo:**
Con la Misión de la Evaluación Final (entre Junio ~ Agosto)

FQCATEC

!Muchas Gracias!

Escuela Especializada
en Ingeniería

ITCA  FEPADE

PRESENTACIÓN DE CADA RESULTADO


Octubre 2009 – Diciembre 2010



 megatec

FQCATEG 

Escuela Especializada
en Ingeniería

ITCA  FEPADE

RESULTADO 1

Presentador.

Lic. José Mauricio Flores Avilés



 megatec

FQCATEG 

RESULTADO ESPERADO

Las competencias didácticas de los docentes del MEGATEC con Sede en La Unión han sido fortalecidas para el desempeño en todas las carreras técnicas.

MIEMBROS

- Lic. Carlos Alberto Sbrián
Director de la Escuela Tecnología de la Información y Ciencias Básicas
- Lic. Francisco Enoc Rubio
Director de la Escuela de Gastronomía y Turismo
- Lic. José Mauricio Flores Avilés
Docente Investigador de Sistemas Informáticos

ACTIVIDADES REALIZADAS

- 1.1 Analizar la metodología didáctica utilizada en el MEGATEC con Sede en La Unión.
- 1.2 Proponer otra(s) metodología(s) didáctica(s) para el MEGATEC con sede en La Unión.
- 1.3 Construir una metodología didáctica adecuada para el MEGATEC con sede en La Unión (*en proceso*).



Actividades para 1.1

Obtener los datos sobre los niveles & determinar el grado de aplicación de la metodología didáctica utilizada

- **Encuesta a docentes** para obtener los datos de los niveles y determinar el grado



Se realizó encuesta a docentes
(13 & 20 Oct. 2010)



Actividades para 1.1

Identificar fortalezas y debilidades de la metodología actual

- **Taller OUBAS** para identificar fortalezas y debilidades del sistema actual



Taller OUBAS entre los miembros
(Dic. 2009)

Actividades para 1.1

Identificar puntos de mejora de la metodología actual

- **Foro grupal** con todo el personal docente



Se realizó un foro grupal con todo
el personal docente
(6 Ene. 2010)

Resultados de 1.1

- Reportes con puntos de mejora
- Reportes sobre metodologías adicionales en que los docentes han sido formados
- Determinación de contenidos y tiempos a ser actualizados.

Actividades para 1.2

Evaluar el contenido de otras metodologías

- Presentación de contenidos adicionales de PROTSO4, C5, D,Ey F



(1 Sep. 2010)

Actividades para 1.2

Seleccionar contenidos que se pueden aplicar

- Socialización de propuesta de Sistema de Formación docente (22 Sep. 2010)

Colaborar con el Experto japonés (CBT, TQM)

- Explicación de otras metodologías que se aplican en Japón por Ing. Tsubata

Actividades para 1.2

Participar en capacitaciones de otras metodologías

- Aplicación a capacitaciones técnicas por JICA y ITCA-FEPADE



Participación de Lic. Carlos Sbrían y Lic. Enoc Rubio en capacitación "PROTS Nivel Master" en GUATEMALA (del 1 al 12 Mar. 2010)



Participación de Lic. Carlos Sbrían y Lic. Enoc Rubio en capacitación "Mediación Pedagógica por Competencias" en Santa Tecla (del 5 al 16 Jul. 2010)

Actividades para 1.2

Participar en capacitaciones relacionadas a educación vocacional

- Aplicación a capacitaciones técnicas en Japón establecidas por JICA



Participación de Lic. Mauricio Flores en
"Capacitación Vocacional en Cooperación con
el Sector Industrial"
(del 1 al 27 Feb. 2010).



Participación de Lic. Enoc Rubio en
"Capacitación en Gestión en Instituciones de
Formación Profesional"
(del 12 Oct. al 20 Nov. 2010)



Actividades para 1.3

Determinar el Sistema de Formación Docente & Revisión por parte de ITCA-FEPADE y MINED

- Presentación (6 Oct. 2010) y Revisión de la propuesta de Sistema de Formación Docente



Reunión con MINED y ITCA-FEPADE
para revisión de propuesta
(29 Nov. 2010)



PLAN FUTURO

- 1.3 Formular una metodología didáctica adecuada para el MEGATEC con Sede en La Unión.
- 1.4 Implementar la capacitación de la metodología didáctica formulada en la actividad 1.3.

PLAN FUTURO Actividades Planificadas

- Incorporación de observaciones
- Reuniones periódicas con comité curricular (cada 3 semanas)
- Elaborar materiales didácticos
- Diseño del curso
- Elaborar programa de capacitación
- Realizar capacitación piloto
- Evaluar capacitación piloto
- Implementar Sistema de Formación Docente

Escuela Especializada
en Ingeniería

ITCA  FEPADE

RESULTADO 2

Presentadores

Lic. Danilo López

Lic. Noemí Cedillos



megatec

FQCATEG 

Escuela Especializada
en Ingeniería

ITCA  FEPADE

RESULTADO 2

RESULTADO ESPERADO

La función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con Sede en La Unión ha sido mejorada para facilitar la promoción y colocación eficientemente.



megatec

FQCATEG 

MIEMBROS

- Lic. José Israel Chávez Aparicio
Director de la Escuela de Ciencias del Mar
- Lic. Hinner Ronaldo Mendoza
Coordinador de Gastronomía
- Lic. Nohemí Cedillos
Coordinadora Departamento Asistencia Estudiantil
- Lic. Danilo López
Coordinador de Sistemas Informáticos

ACTIVIDADES REALIZADAS

- 2.1 Revisar la función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con sede en La Unión.
- 2.2 Identificar puntos de mejora en la función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con sede en La Unión.
- 2.3 Elaborar el plan par mejorar la función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con sede en La Unión
- 2.4 Ejecutar el plan elaborado en la actividad 2.3 para mejorar la función de Asistencia Estudiantil del MEGATEC con sede en La Unión.

Actividades para 2.1 a 2.3

Identificar los puntos de mejora y elaborar el plan de actividades

- Análisis de funciones FCDA
- Investigación de los graduados y empresas
- Guía de preguntas a los docentes para identificar los puntos de mejora del programa de promoción y colocación

Resultados de 2.1 a 2.3

Identificar los puntos de mejora y elaborar el plan de actividades

PUNTOS de MEJORA	ACTIVIDADES
1. INFORMACION ADECUADA -Falta de materiales con información completa de las carreras e institución -No llega a las personas interesadas -No llega en el tiempo adecuado	-Elaboración de Folleto promocional -Elaboración de DVD promocional para promoción & colocación -Elaboración de la Guía de Colocación -Creación de Sitio Web -Realización de los eventos estratégicamente
2. SEGUIMIENTO de los PROGRAMAS -Falta de actualización de información -Falta de monitoreo de graduados -Falta de monitoreo de plazas	-Establecimiento de una base de datos con sistema de actualización para graduados y empresarios en la zona
3. VINCULACION con INSTITUCIONES -Necesita actualización del base de datos de instituciones -Necesita fortalecer contacto institucional	-Establecimiento de una base de datos de líderes locales y centros escolares -Realización de los eventos institucionalmente

Actividades para 2.4 PROMOCIÓN

- **Reunión con Directores** de Educación media de 4 departamentos



Reunión con los directores en USulután
(14 Oct. 2010)



Reunión con los directores en SAN MIGUEL
(3 Nov. 2010)

Resultados de 2.4 PROMOCIÓN

- **Reunión con Directores** de Educación media de 4 departamentos

RESULTADO DE PARTICIPACION

DEPTO.	FECHA	# de Participantes	# de Institutos Asistieron	Total# de Institutos (ind. Privados)	% de Asistencia
LA UNION	26/10/2010	29	21	32	66%
SAN MIGUEL	03/11/2010	36	36	60	60%
USULLUTAN	14/10/2010	31	28	41	68%
MORAZAN	25/10/2010	13	13	22	59%

Actividades para 2.4 PROMOCIÓN

- **OPEN CAMPUS** para la promoción de 3 carreras



OPEN CAMPUS I
para AOP, ACUI & FES
(12 Nov. 2010)



OPEN CAMPUS II
para ACUI & FES
(19 Nov. 2010)

Resultados de 2.4 PROMOCIÓN

- **OPEN CAMPUS** para la promoción de 3 carreras

RESULTADOS DE INSCRIPCIONES por OPEN CAMPUS I & II

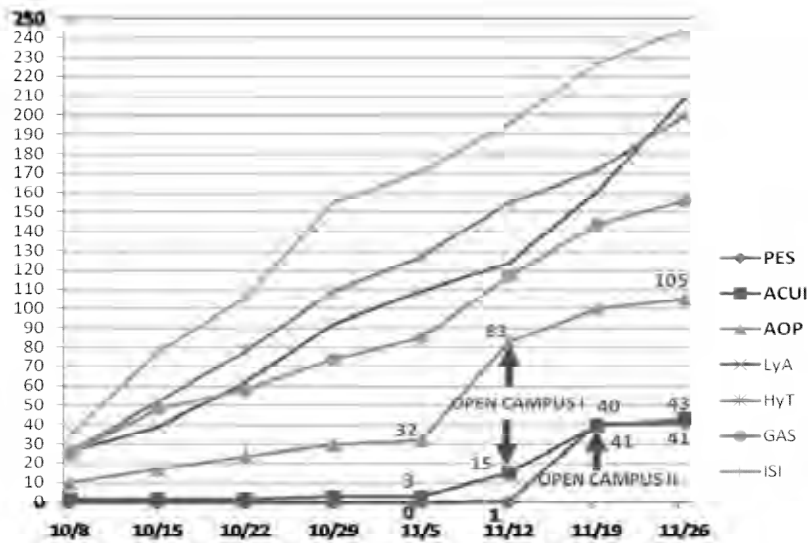
Depto. Carrera	La Unión	San Miguel	Morazán	Usulután	La Paz	Sonsonate	La Libertad	TOTAL
Participantes	4	48	5	58	63	1	1	180
ACUI	0	10	1	10	12	0	0	33
FES	0	0	0	6	30	1	0	37
AOP	1	15	3	21	0	0	1	41
Total de Inscripciones	1	25	4	37	42	1	1	111
%de Inscripciones	25%	52%	80%	64%	67%	100%	100%	62%

Resultados de 2.4 PROMOCIÓN

- **OPEN CAMPUS** para la promoción de 3 carreras

RESULTADOS DE INSCRIPCIONES por OPEN CAMPUS I & II

Carrera	Año 2010	Año 2011	por OCI & II	%por OC
ACUI	6	43	33	77%
PES	0	41	37	90%
AOP	16	105	41	39%
Total de Inscripciones	22	189	111	59%



Actividades para 2.4 COLOCACIÓN

- Feria de Trabajo y Almuerzo Empresarial con MTPS



Feria de Trabajo
en Parque Central de La Unión
(17 Sep. 2010)

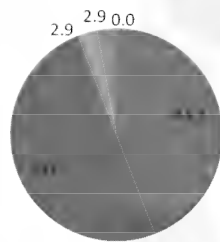


Almuerzo Empresarial
en ITCA-MEGATEC La Unión
(17 Sep. 2010)

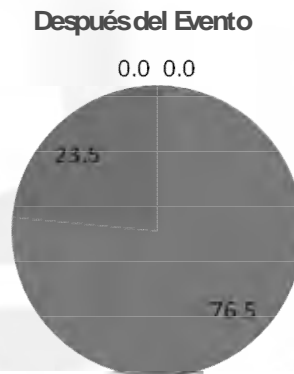
Resultados de 2.4 COLOCACIÓN

- Feria de Trabajo y Almuerzo Empresarial con MTPS

¿Cómo evalúa la calidad de enseñanza del ITCA/MEGATEC La Unión? (34 Encuestados)



Antes del Evento



Después del Evento

Actividades para 2.4 COLOCACIÓN

- Charla de Colocación con MTPS



Charla de Colocación con los alumnos de 2º año
(25 Nov. 2010)

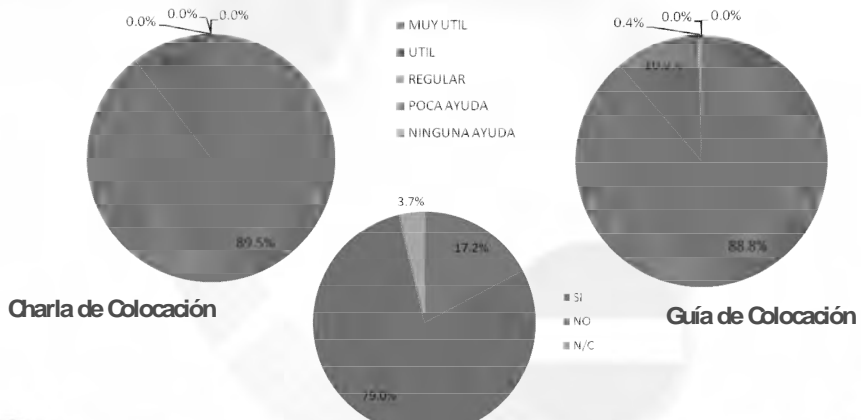


Inscripción Prueba de MTPS
(25 Nov. 2010)

Resultados de 2.4 COLOCACIÓN

- Charla de Colocación con MTPS

¿Cómo evalúa la Charla de Colocación & la Guía de Colocación? (267 Encuestados)



Actividades para 2.4 INTERNA

Fortalecer Seguimiento & Vinculación interna



Creación de un Sitio Web y Sistema con los alumnos de Ingeniería en Sistemas Informáticos (en proceso)



Creación del Comité de Apoyo al Departamento de Asistencia Estudiantil (COMAE) (en funcionamiento)

PLAN FUTURO

2.5 Verificar los resultados de la ejecución en la actividad 2.4.

Actividades Planificadas

- Finalizar las actividades pendientes
 - Implementación de Bolsa de Trabajo MTPS RENACEMPLEO
 - Sistema y Sitio Web
- Verificación y modificación
- Seguimiento de las actividades

Escuela Especializada
en Ingeniería

ITCA  FEPADE

RESULTADO 3

Presentador:
Ing. Salvador Córdova



megatec

FQCATEG 

Escuela Especializada
en Ingeniería

ITCA  FEPADE

RESULTADO 3

RESULTADO ESPERADO

Las competencias técnicas de los docentes del MEGATEC con Sede en La Unión han sido fortalecidas para el desempeño en las carreras técnicas LyA y ACP.



megatec

FQCATEG 

MIEMBROS

- Ing. Herman García
Director de la Escuela Logística, Aduanas y Puertos
- Ing. Marcia García
Docente de Logística y Aduanas
- Ing. Marvin Caballero
Docente de Administración y Operación Portuaria
- Ing. Salvador Córdova
Coordinador de Administración y Operación Portuaria

ACTIVIDADES REALIZADAS

- 3.2 Elaborar un plan de la capacitación en base al perfil definido en la actividad 3.1 para el fortalecimiento de sus competencias técnicas.
- 3.3 Implementar la capacitación a los docentes según el plan elaborado en la actividad 3.2.

Actividades para 3.2

Preparar para la revisión del plan de capacitación

- Revisar necesidades de capacitación por parte de CEPA



Visita de cortesía de Expertos japoneses que realizaron estudio de Puerto de La Unión (10 Dic. 2009)



Taller de identificación de necesidades de capacitación con el Gerente del Puerto de La Unión, Ing. Milton Lacayo (13 & 22 Ene. 2010)

Actividades para 3.2

Elaborar el plan de capacitación con OODI

- Revisar necesidades y elaborar programa de capacitación por parte de expertos japoneses



Reunión de Expertos de OODI con docentes de ACPy LYA (12 & 18 Oct. 2010)



Entrevista de expertos de OODI y autoridades del Puerto de La Unión (13 Oct. 2010)

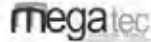
Actividades para 3.2

Elaborar el plan de capacitación con OODI

- Revisar necesidades y elaborar programa de capacitación por parte de expertos japoneses



Reunión de Expertos de OODI y graduados contratados por Puerto de La Unión (13 Oct. 2010)



Reunión de Expertos de OODI y alumnos de 2º año de ACP y LYA (14 Oct. 2010)



Actividades para 3.2

Elaborar el plan de capacitación con OODI

- Revisar necesidades y elaborar programa de capacitación por parte de expertos japoneses y presentar propuesta del plan



Reunión con empresas contratantes de alumnos de las carreras de ACP y LYA (19 & 20 Oct. 2010)



Presentación a Rectoría de propuesta de capacitación en Japón para docentes de ACP y LYA (19 Oct. 2010)



Resultado de 3.2

Plan de Capacitación

Semana	Temas principales
1	Orientación general sobre puertos
2	Códigos internacionales en puertos y terminales contenedORIZADAS
3	Logística, Aduanas, Prevención de desastres y centro de entrenamiento portuario
4	Manejo de carga y medio ambiente
5	Centros de entrenamiento en aduanas y puertos
6	Entrenamiento en Puerto de Hakata
7	Agencias navieras y centros de distribución

Resumen de plan de capacitación presentado por CCCI
(de Jun a Ago 2011)

Actividades para 3.3

Participar en capacitaciones en el exterior

- Aplicación a capacitaciones técnicas en Japón establecidas por JICA



Participación de Ing. Marvin Caballero en capacitación "Desarrollo Sostenible y Planificación Portuaria" (del 6 Jun. al 14 Ago. 2010).



Participación de Ing. Salvador Córdova en capacitación "Gestión Portuaria Estratégica" (del 3 Sep al 17 Oct. 2010)

Actividades para 3.3

Participar en capacitaciones en el exterior

- Resultado de las capacitaciones



Presentación de planes de acción de becarios a autoridades ITCA y MINED (31 Ago. 2010)



Presentación de oferta de capacitación a CEPA (24 Ago. 2010)

Otras Actividades

Vincular con la institución con el Puerto de La Unión

- Actividades para fortalecer la vinculación con el Puerto de La Unión, CEPA



Contratación de 23 alumnos de ACP y 4 alumnos de LYA por parte de CEPA (de May 2010)



Visita de directores de Latinoamérica y Vicepresidente de JICA a Puerto de La Unión (19 Jun. 2010)

PLAN FUTURO

- 3.3 Implementar la capacitación a los docentes de cada carrera según los planes elaborados en la actividad 3.2.
- 3.4 Modificar los materiales didácticos respondiendo a los nuevos conocimientos adquiridos en la capacitación de la actividad 3.3, y realizar una presentación con los materiales didácticos modificados (por los docentes).
- 3.5 Evaluar las presentaciones de la actividad 3.4.

PLAN FUTURO Actividades Planificadas

- Presentar plan de acción para aplicación a capacitación en el exterior
- Primera modificación de materiales didácticos en base a capacitación impartida por becarios de Japón

PLAN FUTURO *Actividades Planificadas*

Resultados no contemplados en Plan Operativo

- Presentación de propuesta de capacitación para docentes de la regional y bachilleratos articulados
- Preparación e implementación de capacitación para docentes y personal de los puertos
- Fortalecer el vínculo entre la institución y el Puerto de La Unión a través de capacitación ejecutada por becarios de Japón

¡Muchas Gracias!

ARIGATOU GOZAIMASHITA!